

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2次)に位置付けた事業の令和2年度評価一覧

基本目標Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る		
具体的施策(1) 地域経済をけん引する産業競争力の強化		
【事業名 各種産業の競争力強化】		
事業概要 技術力、競争力の強化・支援		担当課
具体的事業	工業振興支援事業	商工課
R2年度の実績・件数	○工業振興支援事業補助金 ・交付実績:25件(ISO等認証取得事業, 販路拡大事業, 人材確保・育成事業等, 新製品・新技術開発支援事業, 優良工場再整備事業, 企業連携促進事業) ○産業活性化コーディネーターによる各種支援 ・訪問件数:1,031回(126社) ・先端設備等導入計画の策定支援:2件 ・経営革新計画の策定支援:5件 ・ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金の申請支援:2件 ・企業マッチング支援:5社 ・新型コロナウイルス感染症に係る国・市支援金の申請支援:49件 等	
R2事業費(千円)	予算額 17,526 決算額 17,100	
実施内容	工業振興支援事業補助金を活用し, 販路拡大や新製品・新技術開発の支援を行った。産業活性化コーディネーター2名の配置を継続し, 新型コロナウイルス感染症関連を含む各種支援制度の活用促進, 及び企業マッチング等による経営力の強化の支援を行った。	
課題	市内事業者数に対して産業活性化コーディネーターが不足している現状があるため, 水戸商工会議所等と連携しながら, より効果的かつ効率的な支援を行っていく必要がある。	
R3年度の対応方針	補助金及び産業活性化コーディネーターの配置を継続しながら, 水戸商工会議所や各商工会と連携し, 新型コロナウイルス感染症等により変化する企業ニーズに対応した支援を行っていく。	
事業概要 産業交流機会の創出		担当課
具体的事業	ビジネスマッチング会の開催支援	商工課
R2年度の実績・件数	○工業振興支援事業補助金によるビジネスマッチング会への参加支援 ・0件(新型コロナウイルス感染症により参加を予定していたビジネスマッチング会が中止) ○金融機関主催のマッチング会の開催状況・参加企業調査 ・常陽銀行主催(オンライン):2社参加 ※つくば銀行主催:中止	
R2事業費(千円)	予算額 1,600 決算額 0	
実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響により, 例年実施されているビジネスマッチング会が中止となり, 支援することが困難な状況であった。これまで検討を重ねているアダストリアみとアリーナでのビジネスマッチング会の開催誘致についても同様に, 検討を進めることが困難な状況であった。	
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により, 対面のビジネスマッチング会の開催が困難な状況が続いており, 今後はオンラインによるビジネスマッチング会等について支援を行う必要がある。	
R3年度の対応方針	今後増加が予想されるオンラインによるビジネスマッチング会について, 市内企業に対し産業活性化コーディネーター等をとおして参加を推奨し, 参加企業に対して工業振興支援事業補助金の活用を促していく。アダストリアみとアリーナでのビジネスマッチング会の開催誘致について, コロナ禍における開催方法を検討する。	

事業概要 新製品・新技術開発の支援		担当課
具体的事業	新ビジネス創造推進事業	商工課
R2年度の実績・件数	未実施	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	未実施	
課題	未利用知的財産について、企業に対する効果的な情報提供とともに、産学官連携によるビジネスマッチング手法を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	既存産業の機能強化や新ビジネス創出に寄与する事業であることから、企業に対する効果的な情報提供とともに、事業化に向けた支援方策について、検討を進める。	

【事業名 企業立地の促進】

事業概要 企業誘致の推進

担当課

具体的事業	企業誘致活動等の推進	商工課
R2年度の実績・件数	企業立地促進補助金交付決定件数:0件	
R2事業費(千円)	予算額 50,000 決算額 32,100	
実施内容	事業開始となった2社について、企業立地促進補助金交付をはじめ、各種支援を行った。また、企業立地促進補助金の家賃補助や雇用奨励金について、対象8社(計11件)への支援を行った。企業誘致に向けた用地確保策として、市街化調整区域における開発行為の許可基準を新たに設けた。	
課題	企業に紹介できる用地が不足している。	
R3年度の対応方針	開発行為の新たな許可基準や補助制度の活用促進を図るとともに、宅建協会等と連携しながら誘致活動を展開する。	

事業概要 中心市街地における商業施設等の立地促進

担当課

具体的事業	中心市街地における商業施設等の立地促進	商工課
R2年度の実績・件数	中心市街地店舗、事務所等開設促進補助金交付実績:3件(情報サービス企業事業所、保育所、飲食店)	
R2事業費(千円)	予算額 20,000 決算額 14,000	
実施内容	中心市街地(都市中枢ゾーン)の更なる機能の集積と強化、就業機会の拡大、本市の特徴でもある第3次産業(商業・サービス業)を中心とした各種産業の振興に向け、商業施設など、店舗・事務所等の立地を促進する。	
課題	さらに活用しやすい制度とするため、要件の見直しなどの検討が必要である。	
R3年度の対応方針	まちなかの賑わいや雇用の創出に寄与する事業であることから、本事業を継続する。	

【事業名 観光産業の強化】		担当課
事業概要 観光特産品の開発促進		観光課
具体的事業	納豆や梅等を活用した新たな土産品・ご当地グルメの開発	観光課
R2年度の実績・件数	・水戸商工会議所が主催した「納豆食べ方コンテストvol.3 禁断の納豆スイーツ」への協力	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	・「納豆食べ方コンテストvol.3 禁断の納豆スイーツ」の選考及び庁舎内へのポスター掲出等、情報発信に協力した。	
課題	・メディア露出は多くあったもののイベント実施のみにとどまり、新たな土産品やグルメとしての開発までには繋がらなかった。	
R3年度の対応方針	・水戸商工会議所や土産品事業者等と連携を図りながら、新たな土産品・ご当地グルメ開発につながる取組を検討していく。	
事業概要 観光特産品の魅力向上		観光課
具体的事業	物産展開催及び物産振興事業	観光課
R2年度の実績・件数	・「交流都市と彦根の観光と物産展」 期間:令和2年10月31日(土)～11月3日(火・祝) 場所:ひこね市文化プラザ 西側駐車場 ・物産振興補助金の交付(水戸観光土産品協会)	
R2事業費(千円)	予算額 710 決算額 150	
実施内容	・新型コロナウイルスの影響により、多くの物産展が中止や規模縮小を余儀なくされた中、開催された物産展において、本市の観光土産品の販売及びPRを行うことができ、一定の成果をあげることができたものと評価する。	
課題	・新型コロナウイルスの影響により、多くの物産展の中止が余儀なくされた。また、開催された物産展に関しても、例年と比べると、参加事業者や出品数が減少してしまったので、販売やPRの機会の創出につながる取組が必要である。	
R3年度の対応方針	・引き続き、水戸観光土産品協会と連携しながら、水戸市の土産品のPRや販売促進を図る。また、令和4年度、本市で開催予定の三市の物産展について、安心・安全な開催手法等の検討を進める。	
事業概要 観光特産品の魅力向上		観光課
具体的事業	優良観光土産品登録制度の活用の推進	観光課
R2年度の実績・件数	・優良観光土産品審査会 期間:令和3年2月17日(水)～26日(金) (意見聴取期間) 場所:書面開催 新規登録:3社3品, 更新:12社19品	
R2事業費(千円)	予算額 158 決算額 118	
実施内容	・優良観光土産品登録商品について、広報みやとや新聞広告でPRを行った。また、事業者に対して、登録の呼びかけを行い、新規登録につながった。	
課題	・安定かつ継続した新規登録の増加、既存登録の更新につなげるため、本制度の価値を更に高めていく必要がある。	
R3年度の対応方針	・他自治体における同様の土産品登録制度について情報収集を行い、本制度の充実について検討を図る。	

事業概要 伝統産業の振興		担当課
具体的事業	伝統産業(地酒, 水府提灯等)の振興	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> 水戸の地酒で乾杯推進事業補助金の交付(「水戸の地酒フェス」の開催支援等) 期間:令和2年8月21日(金)~23日(日) 場所:水戸駅北口ペDESTリアンデッキ 各種まつり開催にあわせた水府提灯のPRと活用 	
R2事業費(千円)	予算額 1,500 決算額 1,500	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で売上が減少した地酒関係事業者を支援すべく,協議会参画事業者による地酒イベント「水戸の地酒フェス」を開催し,延べ650人の来場者があった。 梅まつり期間中の催事等にあわせて,水府提灯の無料貸出を行った。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> イベントを通し事業者の支援及びPRができたが,年間を通じ,継続的な取組を実施することが必要である。 	
R3年度の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 水戸の地酒で乾杯推進協議会と連携しながら,広報誌やWEBを通じて継続的にPRを行っていく。 提灯について,引き続き,優良観光土産品としてのPRや,体験プログラムとして活用することで,周知を図っていく。 	
【事業名 持続可能な農業の確立】		
事業概要 6次産業化の推進		担当課
具体的事業	儲かる農業ステップアップ事業(旧産地改革チャレンジ事業)	農産振興課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> 交付実績 1件(ねぎの強靱化ハウス増設) 県における「儲かる農業ステップアップ事業」の活用 	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	県が企画書評価会を実施し,事業主体がプレゼンを行う。その結果1件が採択された。	
課題	県の補助事業が令和2年度に終了したため,現在のところ事業を実施できない。6次産業化には,長期的な取組が必要となる。	
R3年度の対応方針	今後補正などにより,同様の事業が実施された際に,要望を調査し事業を実施する。	
事業概要 6次産業化の推進		担当課
具体的事業	特産農産物販売促進事業	農産振興課
R2年度の実績・件数	販売促進事業への補助 1団体(水戸パパイヤ栽培研究会)	
R2事業費(千円)	予算額 450 決算額 150	
実施内容	青パパイヤの販売促進・PRを補助する。青パパイヤの加工品開発,商品化支援を行う。	
課題	6次産業化には,長期的な取組が必要となる。	
R3年度の対応方針	水戸の農産物及び加工品について,6次産業化の事業経営が成り立つまでの取組について支援する。	

事業概要 6次産業化の推進		担当課
具体的事業	伝承の味「水戸のわら納豆」を未来へつなぐプロジェクト	農政課
R2年度の実績・件数	農福連携によるわら苧「福藁」生産体制の強化及びPRに係る事業に対する助成 事業名: わら納豆用稲わら生産・加工促進事業 交付先: 水戸市わら納豆推進協議会	
R2事業費(千円)	予算額 2,300 決算額 1,923	
実施内容	生産体制の強化について、わら苧用稲わらの生産に取り組む農業者の圃場にパイプハウス2棟、結束機1台の導入を図った。また、水戸京成百貨店におけるお歳暮販促会場(令和2年11月)及び同百貨店レストラン街での「三福(ふくゆい/梅, 福藁/納豆, ふくまる/県産ブランド米)」を使用した限定メニューの提供(令和3年3月)に際し、「福藁プロジェクト」のパネル展示等によるPRを行った。	
課題	令和3年度は生産体制の強化に係る計画の最終年度となるため、生産者との調整により、新たな農地等の確保を推進する必要がある。	
R3年度の対応方針	農地等の確保に係る調整を進め、生産体制の構築に取り組むほか、コロナ禍に伴う観光客の激減によるわら納豆の販売落ち込み等を踏まえ、事業内容の検討を行うなど、わら苧の安定的供給に向けた取組を進める。	

事業概要 農産物のブランド化の推進		担当課
具体的事業	農産物ブランド化とPR活動の強化	農産振興課
R2年度の実績・件数	新たな特産農産物の開拓に取り組む団体の支援 1団体(内原ハトムギ生産組合)	
R2事業費(千円)	予算額 300 決算額 100	
実施内容	ハトムギを新たな特産品とするための活動を支援する。	
課題	6次産業化には、長期的な取組が必要となる。	
R3年度の対応方針	新規作物に挑戦する団体に対して、新たな水戸のブランド・特産農産物に繋げていくため、栽培における初期費用等について3年間を上限に支援する。	

事業概要 農産物のブランド化の推進		担当課
具体的事業	水戸の梅産地づくり事業	農産振興課
R2年度の実績・件数	梅果樹棚等整備 1件11 a 苗木育苗等 90本 梅菓子の販売 11社26品	
R2事業費(千円)	予算額 3,300 決算額 1,532	
実施内容	食用梅の産地化とあわせ、市内産梅を活用した付加価値の高い商品の開発・販売に取り組む、水戸産梅のブランド化を図る。	
課題	栽培面積は、2.81haになったが、当初想定していた反収に至らず、収穫量が計画に達しない。 収穫量が天候による影響を多大に受け、不安定である。	
R3年度の対応方針	農家募集は、引き続き広報誌等を通して行い、栽培面積を増やしていく。 梅菓子、梅干し、梅酒の販売促進を支援する。 水戸産梅「ふくゆい」のブランド名をチャシ、メディア等を通してより浸透させていく。	

事業概要 地産地消の推進		担当課
具体的事業	地場農産物利用促進事業	農産振興課
R2年度の実績・件数	地産地消推進店「水戸美味(みとうま)」登録店 78店 水戸美味スタンプラリー実施	
R2事業費(千円)	予算額 10,600 決算額 9,001	
実施内容	新規登録店は2店舗。ガイドマップを2万部作成し、市民、観光客に配布した。また、水戸美味スタンプラリーを実施し、水戸美味登録点のうち3つの店舗で飲食又は購入した方にクーポンを配布し、回遊性を高めた。	
課題	一部参加店が閉店した。事業開始期と比較すると新規登録店舗数が減っている。	
R3年度の対応方針	地場農産物の利用促進、地域の活性化に資する事業であることから本事業を継続する。	

事業概要 経営規模拡大に向けた取組の推進		担当課
具体的事業	認定農業者水田規模拡大事業	農政課
R2年度の実績・件数	認定農業者水田規模拡大補助金 交付先経営体数:32経営体	
R2事業費(千円)	予算額 5,000 決算額 3,081	
実施内容	上記補助金により、3ha以上の経営規模を持つ市内認定農業者が、水田での規模拡大を図る際に10千円/10aの助成を行うことで、耕作者のいない農地の担い手(認定農業者)への集積促進を図った。	
課題	地域における農地集積の推進に際し、より効果的な活用の促進を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	農地中間管理事業の重点実施区域等における集積の推進にあたって、関係機関と連携した制度周知を図ることで、さらなる事業の活用を図る。	

事業概要 経営規模拡大に向けた取組の推進		担当課
具体的事業	農地中間管理事業	農政課
R2年度の実績・件数	水戸市機構集積協力金交付事業による、地域集積協力金及び経営転換協力金の交付 地域集積協力金 交付地域 2地域 交付対象面積 28.2ha 経営転換協力金 交付対象世帯数 34戸 交付対象面積 12.3ha	
R2事業費(千円)	予算額 23,256 決算額 8,795	
実施内容	常澄地区における平戸・三原地区について、農地中間管理事業により重点的に農地集積を推進し、耕作者のいない農地の担い手への集積を図ったほか、経営転換協力金の交付事業により、リタイアや部門減少を行う農業者の農地を新たな担い手へ集積を図ることができた。	
課題	当初予定していた重点実施区域における集積の遅延により、事業実績が計画を下回ったことから、関係機関及び地元農業者、農地所有者との連携を強化し、さらなる推進を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	土地改良区、中間管理機構及び関係機関との連携を密にし、地域の協議状況に併せて、重点実施区域における集積を推進していく。	

事業概要 経営規模拡大に向けた取組の推進		担当課
具体的事業	優良農地の維持・保全	農政課
R2年度の実績・件数	農業多面的機能維持事業補助金 交付対象 49組織 対象農地面積 2,162ha(農地維持活動に係る面積)	
R2事業費(千円)	予算額 104,000 決算額 92,399	
実施内容	地域の農業者、農地所有者等が組織する団体が実施する、農地維持等に係る活動に対する助成を行い、農地及び周辺の自然環境等の維持・保全を推進した。	
課題	高齢化等により、活動の継続が危ぶまれる組織がみられ、新たな活動の立上げ支援や、組織の広域化支援等による活動面積の維持が必要となる。	
R3年度の対応方針	地域において新たな活動の意向がある場合に、関係機関と連携した制度周知等により、交付金を活用した活動の実施を支援していくほか、適時広域化等の推進により、活動の維持または拡大を図る。	

具体的施策(2) 多様な雇用の場の創出、地域雇用の促進

【事業名 起業・創業支援の充実】

事業概要 起業・創業者への支援

事業概要 起業・創業者への支援		担当課
具体的事業	創業支援事業	商工課
R2年度の実績・件数	○創業件数:70件(累計496件) ○創業期支援補助金交付件数:3件 ○みと支援塾の開催 1~3月(全6回/オンライン) ○創業支援事業者における創業セミナー等の開催	
R2事業費(千円)	予算額 6,800 決算額 5,459	
実施内容	水戸商工会議所などの創業支援事業者との連携のもと、セミナーや相談会を開催するなど、各種創業支援事業を推進するとともに、創業後の安定的な事業継続に向けた支援を実施する。	
課題	R3年度末で水戸市創業支援等事業計画の計画期間が終了するため、各創業支援事業者等と協議のうえ内容等を整理し、計画の変更を行う。また、創業支援事業者間での情報共有を強化し、創業希望者・創業者への切れ目のない支援を実施する必要がある。	
R3年度の対応方針	創業支援事業者間で情報を共有することで、創業者へ切れ目のない支援を行うことができることから、本事業を継続する。	

事業概要 ベンチャービジネスの育成・支援

事業概要 ベンチャービジネスの育成・支援		担当課
具体的事業	コワーキングスペース運営事業	商工課
R2年度の実績・件数	○会員数:個人8名 ○総利用者数:1,924名 ○セミナーの開催:13回 ○創業相談員による相談:67回(週1日) ○イノベーションコミュニティスペース利用回数:132回	
R2事業費(千円)	予算額 19,010 決算額 16,668	
実施内容	コワーキングスペース(南町3丁目)を設置し、創業希望者へ事業場所を提供するとともに、セミナーの開催や事業者間の交流を促進し、新事業やサービスの創出を行う。	
課題	様々な支援情報をコワーキングスペースから発信できるように、各創業支援実施事業者と密に連携を図り、市内の創業支援に関する情報をまとめ、創業希望者に対して継続的な支援を実施できるよう体制を整える必要がある。	
R3年度の対応方針	創業者支援の拠点であるとともに、中心市街地活性化に資する施設であるため、本事業を継続する。	

【事業名 店舗開業・出店の推進】		担当課
事業概要 空き店舗を活用した開業等の支援		商工課
具体的事業	空き店舗対策事業	商工課
R2年度の実績・件数	3件:飲食業2件, サービス業1件	
R2事業費(千円)	予算額 8,000	
	決算額 2,562	
実施内容	空き店舗の活用促進と創業者等の支援を通して商店街のにぎわい再生を図るため, 新規創業者などに対して新規出店する店舗の改装費の補助を行う。	
課題	より多くの事業者が活用しやすい制度とするため, 要件の見直しなどの検討が必要である。	
R3年度の対応方針	中心市街地の活性化に寄与する事業であるため, 本事業を継続する。	
事業概要 遊休不動産を活用したにぎわいづくり		担当課
具体的事業	水戸まちなかリノベーション事業	商工課
R2年度の実績・件数	未実施	
R2事業費(千円)	予算額 0	
	決算額 0	
実施内容	未実施	
課題	遊休不動産オーナーの理解促進や実施事業者の発掘, 事業化を支援するためのフォロー体制や創業開始時の支援策の充実など, 関係機関と連携し検討していく必要がある。	
R3年度の対応方針	遊休不動産を活用したにぎわい創出のため, 民間まちづくり会社等の関係機関との連携のもと, 遊休不動産と創業希望者等とのマッチングを図る。あわせて, 人材の発掘・育成に取り組みながら, まちなかリノベーション事業を促進するなど, 新たな人の流れの創出に取り組む。	
【事業名 働く人の確保, 育成】		担当課
事業概要 UJIターンの促進		商工課
具体的事業	地方出身者向け企業説明会の開催	商工課
R2年度の実績・件数	企業説明会(市内参加企業数19社) 企業ガイドブックの作成・配布	
R2事業費(千円)	予算額 2,060	
	決算額 1,038	
実施内容	県との共催により, 企業説明会を開催した。また, NPO法人等との共催によりオンラインによる企業説明会を2回開催した。 企業ガイドブックについては, 昨年度より6社増の81社を掲載したほか, 福利厚生, 1日のタイムスケジュール等の追加掲載項目を設け, 内容の充実化を図った。	
課題	本市への移住・定住を促進していくため, 引き続き, 効果的な事業を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	高校生・大学生向けの企業ガイドブックの配布など, 地元企業の情報発信に取り組む。 県等との共催により企業説明会を開催する。	

事業概要 技術者・後継者の育成支援		担当課
具体的事業	円滑な事業承継に向けた関係機関との連携	商工課
R2年度の実績・件数	事業承継件数:7件	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	産業活性化コーディネーターにより事業承継に対する状況の確認やニーズの掘り起こしを行い、茨城県事業承継センター等の関連機関と連携しながら、国が定める事業承継マニュアルにより事業承継計画の策定支援を行った。	
課題	具体的かつ効果的な支援を実施するため、茨城県事業承継・引き継ぎ支援センター等の関係機関との連携を強化していく必要がある。	
R3年度の対応方針	引き続き、産業活性化コーディネーターにより事業承継に対する状況の確認やニーズの掘り起こしを行うとともに、茨城県事業承継・引き継ぎ支援センターや商工会議所等と連携し支援を行っていく。	
事業概要 地域雇用の促進		担当課
具体的事業	教育機関と連携したインターンシップの支援	商工課
R2年度の実績・件数	教育機関と連携した事業の実施に向けた検討 企業ガイドブックの作成・配布	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	令和2年度時点では事業の実施には至らず、他市事例等の調査など、検討を進めている。企業ガイドブックについては、新規採用及びインターンの受入を実施している企業81社を掲載し、高校・大学等に配布した。	
課題	本市の地域雇用の促進していくためにも、令和3年度以降の事業実施に向けて、引き続き、効果的な事業の設計を行う必要がある。	
R3年度の対応方針	民間事業者との共催により、高校生向け職場体験事業を実施する。 高校生・大学生向けの企業ガイドブックの配布など、地元企業の情報発信に取り組む。	

事業概要 地域雇用の促進		担当課
具体的事業	教育機関と連携したインターンシップの支援	男女平等参画課
R2年度の実績・件数	○市内大学連携による学生対象キャリアセミナー「仕事と家庭の両立プログラム」の開催 連携大学:常磐大学 開催日:令和3年1月25日(月) 参加者:24人	
R2事業費(千円)	予算額 800 決算額 107	
実施内容	えるぼし認定を取得するケースホールディングス(株)と、くるみん認定を取得する水戸信用金庫よりロールモデルの出席をいただき、各社の取組や体験談等についての説明を受けることで、就職活動前の学生に仕事と家庭の両立についての具体的なイメージを持つ機会とした。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実際にインターンには行かず、オンラインで実施した。	
課題	本セミナーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインでの実施となり、体験する機会が提供できなかった。 また、常磐大学との連携により授業の一環として実施したが、当該授業の履修者に参加者が限られるため、更なる参加者の増を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	コロナ禍においてはインターン方式が困難であるため、オンライン形式の予定であるが、一層「両立」を肌で感じてもらえるよう、職場や家庭での実際の様子の部分を充実させる。	

事業概要 地域雇用の促進		担当課
具体的事業	体験職業セミナー、市内企業説明会の開催等	商工課
R2年度の実績・件数	市内企業説明会の開催(19社) 体験職業セミナーの実施に向けた検討	
R2事業費(千円)	予算額 200 決算額 0	
実施内容	県との共催により、企業説明会を開催した。NPO法人等との共催により、オンラインによる企業説明会を2回開催した。体験職業セミナーについては、県、NPO法人との連携を含め、検討を進めている。	
課題	本市の地域雇用の促進していくためにも、令和3年度以降の体験職業セミナーの実施に向けて、引き続き、効果的な事業の設計を行う必要がある。	
R3年度の対応方針	県等との共催により企業説明会を開催する。引き続き、体験職業セミナーの事業化に向けて他市事例等の調査や、各関係団体との話し合いを進める。	

事業概要 地域雇用の促進		担当課
具体的事業	スキルアップセミナーの開催	商工課
R2年度の実績・件数	勤労者や就労希望者に対する、パソコンスキルなどの向上に資するスキルアップセミナーの開催 パソコンセミナー1回 参加者11名, 若手社員スキルアップセミナー1回 参加者22名	
R2事業費(千円)	予算額 480 決算額 478	
実施内容	勤労者や就労希望者に対し、パソコンスキルなどの向上に資するセミナーを開催した。パソコンセミナーでは初めて画像編集をテーマにした。若手社員スキルアップセミナーでは、コロナ禍で職場内でのコミュニケーションに課題を感じる若手社員に対し、ビジネススキルと心理学を中心に講義を行った。	
課題	ポストコロナ時代に即した開催方式や内容を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	令和2年度の実績を踏まえ、更なる内容の充実を図りながら、本事業を継続する。	

事業概要 認定農業者等担い手の確保・育成		担当課
具体的事業	青年就農給付金支援事業	農政課
R2年度の実績・件数	青年就農給付金の交付 11名(うち夫婦2組, 新規1名)	
R2事業費(千円)	予算額 21,174 決算額 13,167	
実施内容	就農計画の認定を受けた、経営開始後5年以内の農業者に対する助成(基本年額1,500千円, 夫婦2,250千円)を行い、若手農業者の経営安定及び規模拡大を支援した。	
課題	新規就農者の確保に向け、県央農林事務所等、関係機関と連携した支援により、円滑な制度の活用を推進する必要がある。	
R3年度の対応方針	関係機関及び研修機関との連絡調整を密にし、円滑な制度の活用支援を図る。	

事業概要 認定農業者等担い手の確保・育成		担当課
具体的事業	就農スタートアップ支援制度の活用促進	農政課
R2年度の実績・件数	新規就農者支援補助金 交付 1件	
R2事業費(千円)	予算額 1,050 決算額 200	
実施内容	新たに青年等就農計画の認定を受け、営農を開始した農業者(認定新規就農者)の資機材等の調達に対して助成を行い、初期投資の負担軽減を図ることで、経営安定を支援した。	
課題	認定新規就農者の初期費用支援を並行して、当該事業の対象となる研修費用等についても活用促進を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	研修機関等を通じて制度周知を図り、市内の新規就農者に資する事業の推進を図る。	

事業概要 認定農業者等担い手の確保・育成		担当課
具体的事業	体験農園支援事業	農政課
R2年度の実績・件数	農業関係人口の増加、多様な担い手の育成に向けた入口として、農業未経験者を対象に、ふるさと農場において、5月から12月にかけて葉菜や根菜、果菜等を栽培し収穫する野菜づくり体験を実施 参加者数 10組21名	
R2事業費(千円)	予算額 34 決算額 34	
実施内容	ふるさと農場において相談員の指導のもと、トウモロコシやダイコン、サトイモ等の栽培、収穫を行った。	
課題	参加者の中には、その後ふるさと農場の貸し農園で農業を始めた方もいる。さらに一步進んで、農家の補助労働や就農につなげるための取組が必要である。	
R3年度の対応方針	ふるさと農場での野菜づくり体験を継続しながら、新たに、相談員の指導のもと多品種の野菜を1年間栽培し、野菜の自給を目指す自給農園体験を実施する。	

事業概要 ワーク・ライフ・バランスの推進		担当課
具体的事業	女性活躍推進事業	男女平等参画課
R2年度の実績・件数	○就業支援講座の開催(復職支援1回) ①子育てママ「子育てママのマネープラン」 令和2年11月27日(金) 参加者6人 ○市内大学連携による学生対象キャリアセミナーの開催(2回) ①常磐大学「仕事と家庭の両立プログラム」 令和3年1月25日(月) 参加者:24人 ②茨城大学「わたしのキャリアとワーク・ライフ・バランス」 令和3年2月1日(木) 参加者:85人 ○女性起業家によるセミナー及び相談交流会の開催(2回) ①女性のための私にもできる起業!本気編 令和2年11月16日(土) 参加者9人 ②女性のためのSNS活用集客セミナー 令和2年11月30日(土) 参加者10人 ○政策提言発表会の開催(2回) ①「若者によるエビデンスに基づく政策提言発表会」 参加者:43人 ②「若者によるエビデンスに基づく政策提言発表会」(オンライン) 参加者:11人 ○キャリアアップ講座、人材不足解消セミナーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
R2事業費(千円)	予算額 1400 決算額 367	
実施内容	女性の活躍推進に向けて、女性が活躍できる機会のさらなる拡充と、ワーク・ライフ・バランスの啓発推進のため、市内の各関係機関等と連携、協議し、各種研修会及び相談会等の事業を実施する。	
課題	女性や若者、事業者向けに、啓発だけでなく、行動に結びつく事業を効果的に実施していく必要がある。	
R3年度の対応方針	コロナ禍など、様々な状況に応じた開催方法(オンラインなど)を確立させるとともに、女性活躍推進及びワーク・ライフ・バランスの啓発のため、本事業を継続する。	

事業概要 ワーク・ライフ・バランスの推進		担当課
具体的事業	男女平等参画に関する学習機会の提供	男女平等参画課
R2年度の実績・件数	○男女平等参画塾の開催(1回) 女性のためのミドル世代「おひとりさま」講座 令和2年11月28日(金), 12月5日(土) 参加者数:35人	
R2事業費(千円)	予算額 120 決算額 80	
実施内容	女性の単身者や女性の貧困の深刻化が進む危険が増加している中, ミドル世代を対象に, ファイナンシャルプランナーを講師として迎え, 将来に向けて備えるべきお金の知識や情報を提供するとともに, ハローワーク水戸の職員から, 就業に関する情報提供を行うことで, 女性が今後自分らしい充実した暮らしを実現するためのきっかけとした。	
課題	社会や経済情勢を踏まえ, ニーズを把握する必要がある。	
R3年度の対応方針	コロナ禍など, 様々な状況に応じた開催方法(オンラインなど)を確立させるとともに, 男女平等参画に関する啓発をするために本事業を継続する。	

事業概要 ワーク・ライフ・バランスの推進		担当課
具体的事業	市内事業所功労賞の表彰	男女平等参画課
R2年度の実績・件数	○「男女平等参画社会づくり功労賞」表彰式の開催 期日:令和2年11月27日(金) 表彰:個人1件, 団体2件, 事業所1件	
R2事業費(千円)	予算額 57 決算額 49	
実施内容	男女平等参画社会の形成に向け具体的行動の契機となることを目指し, 他の模範となる先駆的な実績を残した個人・団体・事業所に対し, 功労賞を授与し, 男女平等参画意識の醸成を図るため実施した。例年は, ヒューマンライフシンポジウムに併せて実施していたが, コロナ禍により表彰式のみ開催した。	
課題	女性活躍推進について事業所への意識啓発及び積極的な取組の推進を図るため, 広報誌や情報誌, ホームページ等でさらに周知・紹介していく必要がある。	
R3年度の対応方針	女性の活躍推進を積極的に取組む, 先駆的な事業所を表彰することで, 事業所への意識啓発及び積極的な取組の推進を図るため, 本事業を継続する。9月の推進月間事業「ヒューマンライフシンポジウム」において受賞者の紹介をする予定である。	

事業概要 ワーク・ライフ・バランスの推進		担当課
具体的事業	ワーク・ライフ・バランス取組企業への支援	商工課
R2年度の実績・件数	ハローワーク等の関係機関と連携を図りながら、長時間労働抑制のチラシ設置、ポスターの掲示などによる、企業の労働環境の向上に関する啓発の実施	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	ワーク・ライフ・バランスを推進し、家庭と仕事を両立できる環境づくりに向け、関係機関と連携を図りながら、長時間労働抑制のチラシ設置、ポスターの掲示など、企業の労働環境の向上に資する取組を支援するとともに、令和3年度以降の実施に向けた検討を行った。	
課題	事業者向けの啓発に加え、企業のワークライフバランスへの取組を促進させる効果的な支援策を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	令和3年度以降の事業実施に向けて、関係機関との連携など、引き続き取組企業への支援のあり方の検討を進める。	
具体的事業	ワーク・ライフ・バランス取組企業への支援	男女平等参画課
R2年度の実績・件数	○「男女平等参画社会づくり功労賞」の表彰及び広報誌等による紹介 表彰式: 令和2年11月27日(金)、広報みと12月15日号、情報誌「びよんど」49号	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	受賞した事業所を広報みやホームページ、情報誌等に掲載して周知することにより、女性活躍推進の理解を深めた。	
課題	表彰の対象となる企業が増えるよう、特に中小規模の事業者が一般事業主行動計画の策定や育児・介護休業制度の整備に取り組むための情報提供等の支援や「くるみん」「えるぼし」の認定取得の働きかけが必要である。	
R3年度の対応方針	女性の活躍推進に積極的に取り組む、先駆的な事業所を表彰することで、事業所への意識啓発を図り、積極的な取組を促進するため、本事業を継続する。	

基本目標Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す		担当課
具体的施策(1) 戦略的観光の振興による交流の拡大		
【事業名 戦略的なイベントの展開, PR活動の強化】		
事業概要 インバウンド観光の推進		担当課
具体的事業	外国人観光客の受入体制の充実	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーの実施 1件 ・インバウンドセミナーの開催 1件 ・インバウンド対応能力強化研修の開催 1件 	
R2事業費(千円)	予算額 1,440 決算額 980	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー 在日台湾人インフルエンサーをモニターとして招聘し、市内観光施設や体験プログラムの受入体制等を評価いただくとともに、併せて台湾に対する情報発信を行った。 ・インバウンドセミナー コロナ禍におけるインバウンド対策について、専門家によるオンラインセミナーを開催した。 ・インバウンド対応能力強化研修 事業者やボランティア等観光人材のインバウンド対応能力を強化するため、オンライン研修を開催した。 	
課題	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い外国人観光客が激減し、また訪日観光再開の目途が立たないことから、多くの民間事業者が外国人の誘客に対して消極的になると想定され、インバウンド観光の意識を持続させる必要がある。	
R3年度の対応方針	水戸市インバウンド推進機構を中心に、民間事業者との連携や受入体制の強化とともに、訪日観光再開を見据えたモチベーションの維持、機運醸成を図る。	
事業概要 インバウンド観光の推進		担当課
具体的事業	民間事業者等と連携した情報発信や誘客活動の推進	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・国内営業 2件 ・国内商談会の開催 1件 ・国外商談会の開催 1件 	
R2事業費(千円)	予算額 2,600 決算額 1,119	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国内営業 訪日旅行商品を取扱う都内旅行会社に対し、市内への旅行商品造成を目的とした営業活動を実施するとともに、コロナ禍における事業者の営業状況についてヒアリングを実施した。 ・国内商談会 これまでの国内営業により培ったネットワークを活かし、都内ランドオペレーターと市内民間事業者によるオンライン国内商談会を開催した。 ・国外商談会 これまでの国外営業により培ったネットワークを活かし、台湾現地における旅行会社と市内民間事業者によるオンライン国外商談会を開催した。 	
課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、海外との往来が制限されたことから、国外における営業活動ができなかった。また、国内においても感染の拡大・収束が繰り返されているため、計画的な営業活動ができなかった。依然として訪日観光再開の目途が立たない状況だが、効率的な国内外における営業活動や商談会に取り組むことが必要である。	
R3年度の対応方針	水戸市インバウンド推進機構を中心に、民間事業者との連携強化、コロナ禍でも取り組める手法を検討しながら、継続した営業活動及び訪日観光再開を見据えた情報発信を図る。	

事業概要 効果的・効率的な観光情報の発信		担当課
具体的事業	多様なツールを活用した効果的な情報発信	みとの魅力 発信課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸市ホームページアクセス数2,068,598件／R2年度(※前年度比約2倍) ・水戸市公式LINEアカウント登録者数26,880件／R2年度末時点(※前年同月比約3倍) ・水戸の魅力発信アプリケーション「水戸のこと」累計ダウンロード数17,610件 	
R2事業費(千円)	予算額 11,951 決算額 11,532	
実施内容	水戸市公式ホームページ、各SNSツール(twitter,Facebook,LINE)、動画(YouTube)、ラジオ(茨城放送・FMぱるるん)、水戸の魅力発信アプリケーション「水戸のこと」等を通じた情報発信を行った。	
課題	新型コロナ関連情報を正確・迅速に行っていく必要がある。 デジタルでの情報発信の根幹となる市公式ホームページについて、見やすく分かりやすいようにデザイン等を見直す必要がある。 効果的なツールは時代によって移り変わることも多いので、効果的な情報発信手段を随時研究・見直しを行っていく必要がある。	
R3年度の対応方針	市ホームページのリニューアルを行い、必要な情報にアクセスしやすいデザインとする。情報発信に効果的なツールについて研究を行う。	

事業概要 効果的・効率的な観光情報の発信		担当課
具体的事業	シティセールスマガジンの制作・頒布	みとの魅力 発信課
R2年度の実績・件数	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、シティセールス事業関連については未実施	
R2事業費(千円)	予算額 1,645 決算額 0	
実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、シティセールス事業関連については未実施とした。	
課題	新型コロナウイルスの状況をみて事業を行っていく必要がある。また、ポストコロナ時代における新しい生活様式を踏まえ、移住・定住を促すようなプロモーションを行っていく必要がある。	
R3年度の対応方針	移住関連の施策に沿ったwebベースでのプロモーションについて検討を進める。	

事業概要 効果的・効率的な観光情報の発信		担当課
具体的事業	マスコットキャラクターなどを活用したPR	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・みとちゃんデザイン使用許可申請:120件 ・みとちゃん出演依頼:41件 ・着ぐるみ貸出依頼:21件 ・「みとちゃんのもぐもぐレポート」応募総数:53件 ・みとちゃんに届いた年賀状:1,111通 ・みとちゃんTwitterフォロワー数:6,000人突破(令和2年9月), 7,000人突破(令和3年3月) ・LINEスタンプ販売数:795個 ・LINE絵文字販売数:118個 ※LINE絵文字は令和2年12月22日～販売 	
R2事業費(千円)	予算額 11,164 決算額 2,047	
実施内容	・イベント等への出演, 着ぐるみ貸出のほか, Twitter等を活用したまつりやイベントのPR, 新型コロナウイルスの影響を受けた飲食店を応援するプロジェクト「みとちゃんのもぐもぐレポート」の実施, みとちゃんのLINE絵文字の作成及び販売等を行った。	
課題	・観光分野でのマスコットキャラクター事業のあり方等について, 今後, 費用対効果を含め, 検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度中に, マスコットキャラクター事業の全体的な見直しの検討を行う。 ・引き続き, Twitter等でマスコットキャラクターを活用したシティセールスやまつり・イベントのPRを行う。あわせて, みとちゃんLINEスタンプの販売のほか, 他市と相互連携して活動する和風マスコットサークル「きゃわ和」等を活用し, 市外・県外の各種イベントに積極的に参加することで, 本市の認知度, 魅力度の向上を図り, 誘客に努める。 	

事業概要 効果的・効率的な観光情報の発信		担当課
具体的事業	若い世代による情報発信を活用した観光PR	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌広告及びラッピングバスによる広告 新聞・雑誌広告:4紙(あじさいまつり:1紙, Remote水戸黄門まつり:2紙, 梅まつり:1紙) ラッピングバス:1台(高速路線バス:3面水戸市教育遺産群のラッピング) 	
R2事業費(千円)	予算額 9,000 決算額 930	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌広告やラッピングバスによる観光PRを行った。このほか, 現在行っている周知手法について, ターゲットや時期, 媒体等が適切かどうかのチェック, 費用対効果の検証を行った。 ※なお, 観光ガイドマップ・観光情報誌の増刷やWEBページ広告等は, 新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ, 実施を見送った。 	
課題	・若い世代にも訴求効果のある周知方法を引き続き検討し, 実施する必要がある。	
R3年度の対応方針	・今後も, 既存の周知方法については, 改良を加えながら, より効果的な情報発信に努めるとともに, 新たな周知方法についても検討, 実施する。	

事業概要 戦略的イベントの展開と各種まつりの充実		担当課
具体的事業	各種まつり開催事業	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・桜まつり 期間:3月22日(日)～4月5日(日) 会場:偕楽園, 千波公園, 桜山, 桜川, 水戸大師六地藏寺, 茨城県三の丸庁舎 来場者数:51,500人 ・萩まつり 期間:9月5日(土)～9月27日(日) 会場:偕楽園 来場者数:22,800人 ・菊花展 期間:10月30日(金)～11月5日(木) 会場:水戸市役所本庁舎 来場者数:1,940人(参考値) ・梅まつり 期間:令和3年3月1日(月)～3月21日(日) 会場:偕楽園, 弘道館 来場者数:79,000人 	
R2事業費(千円)	予算額 55,700 決算額 10,709	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりは、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、実施内容を千波湖畔桜のライトアップにとどめるなど、規模縮小で開催したほか、萩まつり、菊花展、梅まつりは、マイクロツアーリズム(域内観光)の考え方を取り入れ、感染症対策を徹底した上で開催した。 ※つつじまつり、あじさいまつり、水戸黄門まつりは、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、中止とした。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心なまつり等の開催はもちろんのこと、回遊や地元消費につながる新たな取組などの検討、実施が必要である。 	
R3年度の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であっても、安心・安全に開催することを前提に準備等を進める。 ・ワクチン接種状況、新型コロナウイルスの感染状況等を鑑みながら、地域経済(観光業)の回復を含め、感染症対策を徹底した上で、まつり・イベント等を検討、実施する。 	

事業概要 回遊性を高める機能強化と魅力づくり		担当課
具体的事業	水戸の花絵巻事業	公園緑地課
R2年度の実績・件数	市内の花のガーデンの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・七ツ洞公園秘密の花苑の管理 ・はなふるたうん事業実施 7件 	
R2事業費(千円)	予算額 8,828 決算額 6,418	
実施内容	ボランティアや各種団体と連携しながら、七ツ洞公園の秘密の花苑の管理や、はなふるたうん事業を実施し、市内の花のガーデンづくりを行った。保和苑のアジサイの充実に関する事業については、新型コロナウイルスの感染拡大のため実施できなかった。	
課題	関係機関と連携し、花の名所めぐりに向けた回遊ルートの作成とPR・活用方法を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	市内の回遊ルートの検討と併せ、茨城県が主催する「いばらきガーデン&オーチャードツアーリズム」に参加し、各所の魅力をPRするとともに周辺施設との連携を強化していく。	

事業概要 回遊性を高める機能強化と魅力づくり		担当課
具体的事業	自転車で回遊できる環境づくり	交通政策課, 観光課
R2年度の実績・件数	水戸観光コンベンション協会が運営する観光レンタサイクル利用実績 水戸駅南口 776人 水戸駅北口 1,640人 千波湖 487人 合計 2,903人	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	・新型コロナウイルスの影響で、イベント等開催を通じたPRができなかったため、市庁舎モニターによる情報発信やIZM9月号mitomemoへの広告掲載など、市民向けのPRを実施し、レンタサイクルの利用促進に取り組んだ。	
課題	・利便性に優れる北口に比べ、南口・千波湖の利用者数が減少傾向にあるため、様々なイベントや観光名所と連携した情報発信など、利用者数を増やす取組が必要である。 ・市内の回遊性向上を図る上で、レンタサイクルは重要な役割を担うことから、さらなる認知度向上のため、ホームページやチラシ、モニター等を利用し、広く情報発信をしていく必要がある。	
R3年度の対応方針	・運営主体である水戸観光コンベンション協会と情報共有を行いながら、るるぶや水戸旅、各イベントチラシ等にレンタサイクルの情報を掲載し、水戸のレンタサイクルの周知に努め、利用促進を図る。	

事業概要 回遊性を高める機能強化と魅力づくり		担当課
具体的事業	花の名所漫遊バス周遊事業	観光課
R2年度の実績・件数	・観光漫遊バス～桜とライトアップ編～の運行 期日:令和3年3月27日(土)・28日(日) 車両:路線バス 乗客数:416名 ルート:水戸駅南口→水戸大手門広場→護国神社前→千波湖西駐車場→水戸駅南口	
R2事業費(千円)	予算額 1,730 決算額 546	
実施内容	・3月下旬に実施した千波湖畔桜のライトアップにあわせ、市内でライトアップされている観光名所をつなぐ観光漫遊バスを、感染症対策を講じた上で運行し、観光客等の回遊性の向上を図った。 ※なお、あじさいまつりや萩まつり等にあわせた運行は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、中止とした。	
課題	・感染症対策を講じた上で運行させる必要があることから、従来以上に効率的かつ効果的に運行する必要がある。	
R3年度の対応方針	・回遊性の向上に向け、引き続き、感染症対策を講じた上で、運行本数を増やすといった工夫を講じながら、まつり等の開催にあわせ、ボンネットバス等を使用した観光漫遊バスを運行する。 ・今後、スカイバスのような観光要素が高い車両や、電気バスのような環境面に配慮した車両等の活用を検討する。	

事業概要 広域連携による観光地づくり

担当課

<p>具体的事業</p> <p>R2年度の 実績・件数</p>	<p>いばらき県央地域観光協議会における取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サイクルコースや観光資源を紹介するPR動画の制作 ○県央地域の食材を活用したスイーツの開発・販売 「あす旅ショコラ」1,589個販売 ○「d design travel」茨城号発刊に連動したプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・d design travel IBARAKI WORKSHOP 期日：令和2年10月17日 会場：茨城県水戸生涯学習センター ・「d design travel」茨城号 発売日：令和3年3月19日 ・d design travel IBARAKI EXHIBITION 会期：令和3年2月26日～3月31日 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、6月27日まで延長で調整 ・d design travel IBARAKI ONLINE TALK 期日：令和3年3月12日～14日 ○ホームページへの流入強化を図るアフィリエイト広告の実施 ○あす旅リレーブログ 令和2年11月～令和3年3月にかけてホームページと月刊ふらぎ県央版にて観光情報を連載 ○広域観光ガイドブックの刷新 部数：10,000 主な配布場所：県央地域各市町村窓口、観光案内所、イバラキセンス ○周遊ツアーの開催 7ツアー開催、336名参加 ○ホームページの利便性向上のためのアンケートの実施 募集期間：令和3年2月17日～3月14日 総回答数：763件 ○ホームページやガイドブックでの体験プログラムの情報発信 ○サイクリングコースの設定 <ul style="list-style-type: none"> ア 水戸市・那珂市・城里町コース イ 笠間市・小美玉市・茨城町コース ウ ひたちなか市・大洗町・東海村コース ○サイクル周遊マップの作成 部数：10,000 主な配布場所：県央地域各市町村窓口、レンタサイクル貸出所、観光キャンペーン
<p>R2事業費 (千円)</p>	<p>予算額 7,010 決算額 7,010</p>
<p>実施内容</p>	<p>首都圏在住の20～30歳代女性をメインターゲットに、定住自立圏共生ビジョンに基づいた県央地域魅力発信事業と周遊型観光の推進事業を推進した。 特に、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベントの開催等が難しかったため、PR動画の制作やスイーツ開発、あす旅リレーブログ等、魅力発信を充実させた。</p>
<p>課題</p>	<p>令和4年度から連携中枢都市圏に移行することから、定住圏自立圏の取組を着実に進めながら、効果検証し、9市町村合意のもと、新たな施策を選定する必要がある。</p>
<p>R3年度の 対応方針</p>	<p>定住自立圏共生ビジョンの最終年度を迎えるため、これまでの事業の効果検証とともに、今後の施策の参考とするためのマーケティング調査を実施する。また、協議会で設定したターゲット、コンセプト及びこれまでの成果をもとに、9市町村共通認識のもと、より効果的な事業を展開するための施策を検討し、連携中枢都市圏ビジョンの策定を目指す。</p>

観光課

事業概要 体験・交流型観光の充実		担当課
具体的事業	体験プログラムの充実	観光課
R2年度の実績・件数	・水戸市体験型観光プログラム創出事業補助金の制度の構築	
R2事業費(千円)	予算額 1,000 決算額 0	
実施内容	・水戸ならではの体験型観光プログラムを新たに創出しようとする事業者に対して、その取組に係る経費の一部を補助する要項「水戸市体験型観光プログラム創出事業補助金」を制定した。	
課題	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、対象者である体験型観光プログラム事業者の参画意欲が低く、補助金申請件数が0となっているため、事業者への働きかけを強化する必要がある。	
R3年度の対応方針	・新型コロナウイルスの感染状況等を注視しつつ、事業者に対する個別説明など、本補助制度の周知を強化し、水戸ならではの体験型観光プログラムの創出を図る。	

事業概要 体験・交流型観光の充実		担当課
具体的事業	体験プログラムを活用した誘客活動の推進(モデルコース作成による市外小・中学生に向けたPR等)	観光課
R2年度の実績・件数	・水戸市HPへの市内体験型観光プログラム情報の掲載 ・市内体験型観光プログラムを紹介するパンフレットの配布	
R2事業費(千円)	予算額 300 決算額 0	
実施内容	・水戸市HPに市内体験型観光プログラムの情報を掲載するほか、同プログラムを紹介するパンフレットを市内外に配布することにより、誘客促進を図った。	
課題	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、市内体験型観光プログラムの情報発信にとどまり、同プログラムを活用した誘客までには至っていないことから、関係事業者との連携を強化し、誘客につながる取組を進めていく必要がある。	
R3年度の対応方針	・より視覚的に訴求力を向上させるようなパンフレットの作成を行うなど、情報発信の方法に改良を加えながら、引き続き、ツアー造成等による誘客促進に努める。	

事業概要 フィルムコミッションの充実		担当課
具体的事業	フィルムコミッションの充実	みとの魅力発信課
R2年度の実績・件数	・相談件数 99件 ・撮影件数 20件	
R2事業費(千円)	予算額 500 決算額 16	
実施内容	映画・映像作品等の市内でのロケについては、新型コロナウイルス感染症の状況を受け、必要最小限の範囲での受け入れを行った。	
課題	新型コロナウイルス感染症の拡大状況次第で、一時的な受け入れの休止や条件の見直し等を随時行っていく必要がある。	
R3年度の対応方針	市内ロケについては、新型コロナウイルスにかかる国・県・東京都等の対応を見極めながら、対策を徹底したうえで、可能な時期・範囲での受け入れを行っていく。	

【事業名 コンベンション誘致活動の強化】		担当課
事業概要 コンベンション誘致活動の推進		担当課
具体的事業	コンベンション誘致推進事業	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致支援:57件 ・営業訪問等:169件 ・コンベンション誘致を目的とした常磐大学との連携協定締結(8月) 	
R2事業費(千円)	予算額 10,000 決算額 7,895	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえながら、誘致支援や営業訪問を行った。 ・アフターコロナを見据え、経済効果及び満足度の向上を図るため、アフターコンベンション(新規ユニークベニューの創出)を充実させた上で、新たな営業資料を作成した。 ・コンベンション誘致の推進を図ることを目的とし、常磐大学との連携協定を締結した。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における誘致支援策や営業訪問の新たな方法等を検討する必要がある。 	
R3年度の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を踏まえ、営業資料の送付に加え、これまでのネットワークを活用した誘致活動や新たな助成制度の策定などを実施していく。 ・ユニークベニューをはじめとしたアフターコンベンションの充実にも注力する。 	

事業概要 コンベンション機能の強化		担当課
具体的事業	アダストリア みとアリーナ等の活用の促進	体育施設整備課
R2年度の実績・件数	アダストリアみとアリーナ来場者数 122,527(人/年) 観光交流人口(人/年) 誘致活動によるコンベンション開催数(件/年)	
R2事業費(千円)	予算額 150,000 決算額 65,180	
実施内容	アダストリアみとアリーナへのコンベンションの誘致を推進するため、メインアリーナに多様な懸垂物に対応可能な吊りバトン(トラス)及び日本最大級の大型映像装置を設置し、迫力ある演出効果を生み出せる魅力ある施設として、スポーツにとどまらない幅広い利用の促進を図ることにより、多様な交流、にぎわいを創出し、まちなか全体の活性化につなげていく。	
課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、施設の閉鎖、大規模大会・イベント等の中止に加え、観覧者の人数制限等を行っており、アリーナ活用の促進及び来場者の増加を図ることが困難な状況となっている。	
R3年度の対応方針	幅広い活用促進に向けた施設の機能向上を図るため、大型映像装置等の整備を完了させるとともに、コロナ禍においても、施設の利用を促進するため、主催者等と連携し、感染症対策を講じながら、大規模大会やイベント等の開催に向けた調整を行う。	

事業概要 コンベンション機能の強化		担当課
具体的事業	新市民会館の整備, 運営	新市民会館整備課
R2年度の実績・件数	保留床の取得	
R2事業費(千円)	予算額 4,500,000 決算額 4,285,000	
実施内容	新市民会館の用に供するための保留床を取得した。	
課題	コンベンション機能の強化に向けて、円滑に施設整備を行う必要がある。	
R3年度の対応方針	令和5年7月の開館に向け、泉町1丁目北地区市街地再開発組合と協力・協議しながら、引続き整備を進めていく。	

具体的施策(2) 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出

【事業名 芸術文化の魅力の向上】

事業概要 水戸芸術館等を中心としたまちのにぎわいづくり

担当課

具体的事業

みと・HIKARI・プロジェクト

R2年度の実績・件数

- 1 水戸芸術館でのライトアップ
 - (1) 場所 塔及びカスケード
 - (2) 点灯期間 通年(休館日も点灯)
 - (3) 点灯時間 春夏 午後7時～午後10時,
秋冬 午後5時～午後10時
 - (4) ライトアップ実施例
 - ア 医療従事者に向けたタワーライトアップ
期間 令和2年4月26日(日)～5月31日(日)
令和2年7月11日(土), 25日(土)
カラー 青
 - イ 臓器移植推進月間タワーライトアップ
期間 令和2年10月15日(木)～19日(月)
カラー 緑
 - ウ 年末年始特別ライトアップ①
期間 令和2年12月1日(日)～令和3年1月14日(木)
カラー カラフル
 - エ 年末年始特別ライトアップ②
期間 令和2年12月29日(火)～令和3年1月3日(日)
カラー 緑・赤
 - オ 年末年始特別ライトアップ③
期日 令和3年1月1日(金)
カラー 黄・紫
 - カ Bリーグオールスターライトアップ
期間 令和3年1月15日(金)～17日(日)
カラー 青・ピンク
 - キ 梅まつりライトアップ
期間 令和3年3月27日(土), 28日(日)
カラー 緑・赤
- 2 市内各施設におけるライトアップ
 - (1) 千波湖の噴水
 - (2) 水戸学の道
 - (3) 水戸城大手門
 - (4) 水戸市水道低区配水塔
 - (5) 千波公園西の谷
 - (6) 偕楽園
 - (7) 弘道館
 - (8) 保和苑
 - *その他, 各種イベントでのライトアップも実施
- 3 市ホームページへのライトアップ情報の掲載

文化交流課

R2事業費
(千円)

予算額 579,200(水戸市芸術振興財団補助金)
決算額 529,200(水戸市芸術振興財団補助金)

実施内容

- ・市街地の夜間のにぎわい創出につながるライトアップを市内施設において実施する。
- ・市ホームページでライトアップ施設の情報を掲載する。

課題

- ・各施設で実施しているライトアップについて, 実施方法や期間等の統一, 連続性を図る必要がある。
- ・東側立体駐車場整備に当たり, 芸術館塔のライトアップ設備の移設等が必要となる。

R3年度の
対応方針

- ・各施設においてライトアップを実施するとともに, 新たなライトアップ場所を募集し, 市ホームページへ掲載する。
- ・市内で開催するまつりやイベント時のライトアップ手法等の検討を進める。

事業概要 水戸芸術館等を中心としたまちのにぎわいづくり		担当課
具体的事業	周辺店舗等との連携によるにぎわいづくり	文化交流課
R2年度の実績・件数	令和元年度に市内の各商店会を対象に実施した、パートナーショップ制度の実施に関する意向調査の結果を踏まえ、パートナーショップ制度の実施方法についての検討	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	水戸芸術館や新市民会館と周辺店舗が連携し、まちなかの回遊性向上を図りながら、にぎわいを創出する。	
課題	・効率的な連携手法やパートナーショップ制度を実施する商店会等の範囲について検討が必要である。	
R3年度の対応方針	・パートナーショップ制度について、周辺店舗との連携方法や効果的な事業手法などの検討を進める。	

事業概要 水戸芸術館等を中心としたまちのにぎわいづくり		担当課
具体的事業	水戸芸術館を中心とした芸術・文化の拠点づくり	文化交流課
R2年度の実績・件数	<p>1 水戸芸術館の入館者数</p> <p>(1)音楽 7,903人 (2)演劇 5,993人 (3)美術 8,818人 (4)その他 5,918人 合計 28,632人</p> <p>2 部門ごとの公演数</p> <p>(1)音楽 87回 (2)演劇 144回 (3)美術 150回 (4)その他 167回 合計 548回</p> <p>3 開館30周年記念事業 令和2年3月22日に開館30周年を迎えたことから、令和元年度、2年度の2か年にわたって、記念事業を実施した。</p> <p>(1)音楽部門 水戸室内管弦楽団第107回定期演奏会 期日 令和2年10月31日(土)、11月1日(日) 入場者数 645人</p> <p>(2)演劇部門 音楽劇『夜のピクニック』 期間 令和2年10月1日(木)～4日(日) 公演数 5公演 入場者数 857人</p> <p>(3)美術部門 ア 森英恵 世界にはばたく蝶 期間 令和2年2月22日(土)～5月6日(水) *新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月2日に終了 入場者 74人(令和2年度)</p> <p>イ 磯崎新一水戸芸術館 縁起ー 期間 令和元年11月16日(土)～5月6日(水) *新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月2日に終了 入場者 74人(令和2年度)</p>	

R2事業費 (千円)	予算額 579,200(水戸市芸術振興財団運営補助金) 決算額 529,200(水戸市芸術振興財団運営補助金)	文化交流課
実施内容	・市民が芸術文化と出会い、創造する拠点として、芸術・文化等の各種イベントの誘致活動に取り組みながら、多様な事業を実施する。	
課題	・令和5年度に開館する新市民会館との一体的な芸術文化の拠点の形成に向けた連携事業の検討を進める必要がある。	
R3年度の 対応方針	・水戸芸術館において魅力的な企画事業、教育普及事業等を開催する。 ・新市民会館の完成後の連携事業の検討を進める。	

事業概要 新市民会館を中心とした新たな市民交流やにぎわいづくり

担当課

具体的事業	新市民会館の整備、運営	新市民会館 整備課
R2年度の 実績・件数	新市民会館の模型の巡回展示(33か所)	
R2事業費 (千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	新市民会館への親しみをより多くの人に持ってもらうため、令和2年6月4日から令和3年2月16日にかけて、各市民センター(33か所)において新市民会館の模型の巡回展示を行った。	
課題	新たな市民交流やにぎわいづくりに向けて、多くの人に親しみを持ってもらえるよう、情報発信手法を工夫する必要がある。	
R3年度の 対応方針	施設整備の状況を勘案しながら、効果的な情報発信に努めていく。	

事業概要 市民主体の芸術文化活動の促進

担当課

具体的事業	水戸市芸術祭等の開催	文化交流課
R2年度の 実績・件数	1 水戸市芸術祭 *コロナウイルス感染症の影響により中止 2 みと千人の音楽祭 *コロナウイルス感染症の影響により令和3年度に延期	
R2事業費 (千円)	予算額 5,250(水戸市芸術祭)/6,500(みと千人の音楽祭補助金) 決算額 929(水戸市芸術祭)/149(みと千人の音楽祭補助金)	
実施内容	・芸術文化を身近に楽しむことができるよう、水戸市芸術祭をはじめとする市民主体の活動を促進する。	
課題	・水戸市芸術祭について、参加者が固定化、高齢化しているため、各実施団体と連携し、若年層をはじめとする新たな担い手の確保が必要である。 ・新市民会館完成後の水戸市芸術祭の実施方法等を検討する必要がある。	
R3年度の 対応方針	・市芸術祭の開催(令和3年5月から11月 芸術館他 7分野23事業) ・SNS等を活用した市芸術祭の周知 ・みと千人の音楽祭の開催(令和4年3月)	

事業概要 水戸発祥のオセロ文化の普及・啓発		担当課
具体的事業	各種イベントの開催及び効果的な情報発信	文化交流課
R2年度の実績・件数	1 オセロ講座 (1)実施回数 1回 (2)参加者数 7人 2 オセロイベント (1)実施回数 2回 (2)参加者数 約12,250人 3 情報発信 (1)概要 韓国向け情報発信サイトへの記事掲載 (2)実施期間 令和2年5月11日(月)～15日(金) (3)閲覧数 2,350回	
R2事業費(千円)	予算額 2,800 決算額 761	
実施内容	・オセロイベントについて、普及・啓発に取り組みながら、オセロ文化のイメージアップを図る。あわせて、世界選手権等の大規模大会の誘致に取り組む。	
課題	・オセロ普及に向けた指導者の育成 ・ボランティア(オセロメイト)の効果的な活用	
R3年度の対応方針	・オンラインの活用を検討しながら、各種大会を開催する。 ・ボランティアに参加しやすい制度を検討する。	
【事業名 スポーツ文化の魅力の向上】		
事業概要 プロスポーツチームを通じた地域の活性化		担当課
具体的事業	水戸ホーリーホック、茨城ロボッツとの連携によるにぎわいづくり	スポーツ課
R2年度の実績・件数	新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため中止	
R2事業費(千円)	予算額 3,800 決算額 0	
実施内容	新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため中止とした。	
課題	新型コロナウイルス感染症の流行状況等をみながら、開催の是非も含めた検討が必要である。	
R3年度の対応方針	・開催日:未定(秋頃の両チームともアウェー戦の日で調整予定) ・会 場:未定(M-SPOまたは両チームのホームスタジアム・アリーナであるケーズデンキスタジアム水戸、アダストリアみとアリーナを軸に調整予定)	

事業概要 スポーツコンベンション誘致活動の推進		担当課
具体的事業	コンベンション誘致推進事業	スポーツ課
R2年度の実績・件数	1件(第7回全日本女子総合選手権ドッジボール, 12/13 アダストリアみとアリーナ)	
R2事業費(千円)	予算額 6,937 決算額 6,937	
実施内容	大会開催費用の補助を行う。	
課題	新型コロナウイルス感染症の流行状況等をみながら、開催の是非を含めた検討が必要である。	
R3年度の対応方針	東日本大会以上の大規模スポーツ大会を16大会開催予定。	

事業概要 スポーツ大会の開催		担当課
具体的事業	水戸黄門漫遊マラソンの開催	スポーツ課
R2年度の実績・件数	新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため中止	
R2事業費(千円)	予算額 15,000 決算額 11,783	
実施内容	新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため中止とした。	
課題	新型コロナウイルス感染症の流行状況等をみながら、開催の是非を含めた検討が必要である。	
R3年度の対応方針	第6回はコロナ禍においても開催可能な大会に向け、各種準備を進めている。	

事業概要 スポーツ大会の開催		担当課
具体的事業	全国大会やプロスポーツ等の大会の開催	スポーツ課
R2年度の実績・件数	1件(第7回全日本女子総合選手権ドッジボール, 12/13 アダストリアみとアリーナ)	
R2事業費(千円)	予算額 6,937 決算額 6,937	
実施内容	大会開催費用の補助を行う。	
課題	新型コロナウイルス感染症の流行状況等をみながら、開催の是非を含めた検討が必要である。	
R3年度の対応方針	東日本大会以上の大規模スポーツ大会を16大会開催予定。	

事業概要 スポーツ施設・環境の充実		担当課
具体的事業	体育施設の管理・運営	体育施設整備課
R2年度の実績・件数	体育施設利用者数:689,288人	
R2事業費(千円)	予算額 1,056,771 決算額 1,044,964	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の適切な管理業務を推進する。 ・指定管理者である(公財)水戸市スポーツ振興協会に委託し、体育施設の管理、運営を行う。 ・体育施設長寿命化計画を策定する。 	
課題	体育施設の老朽化が進んでおり、市民が安心・安全に利用しやすい環境づくり、市民の競技力向上、大規模大会の誘致に向けて、既存体育施設それぞれの状況に応じた改修等が必要である。	
R3年度の対応方針	体育施設の環境整備と適切な維持管理に努め、大規模大会等の開催、誘致に取り組むなど、さらなる利用者の増加が図られるように管理運営を行う。 体育施設長寿命化計画に基づき施設の修繕・改修を行う。	

事業概要 スポーツ施設・環境の充実		担当課
具体的事業	市立競技場整備事業	体育施設整備課
R2年度の実績・件数	未実施	
R2事業費(千円)	予算額 242,000 決算額 0	
実施内容	未実施	
課題	バックスタンド整備に必要な土地について、用地契約を行っていない土地がある。	
R3年度の対応方針	引き続き、用地契約を行っていない地権者との取得交渉を行う。	

具体的施策(3) 自然, 歴史資源を生かした魅力ある交流拠点の形成

【事業名 歴史的資源を生かした交流拠点づくり】

事業概要 借楽園・千波湖周辺(千波公園等)の魅力づくり		担当課
具体的事業	千波湖畔さくらのライトアップ事業	観光課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・千波湖南側湖畔の桜を、LEDライトを使用して、淡く幻想的な色彩にライトアップした。 期間:令和2年3月20日(金・祝)~4月5日(日) 時間:午後6時~午後10時 場所:千波湖南側湖畔(約1.5km, 約120本) 	
R2事業費(千円)	予算額 2,650 決算額 2,619	
実施内容	・桜まつりとの相乗効果を図るため、千波湖南側湖畔の桜を、LEDライトを使用して、淡く幻想的な色彩にライトアップした。	
課題	・コロナ禍において、ライトアップ事業と相乗効果を図ることができる取組(飲食イベント等)や効果的なPR方法について検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	・コロナ禍においても、ライトアップ事業と連携できる取組とともに、水戸のイメージアップ、魅力向上につながる新たなPR方法を検討、実施する。	

事業概要 偕楽園・千波湖周辺(千波公園等)の魅力づくり

担当課

具体的事業	偕楽園公園(千波公園等)の整備	公園緑地課
R2年度の実績・件数	レイクサイドボウル跡地駐車場整備 ・委託 3件 ・工事 1件	
R2事業費(千円)	予算額 194,000 決算額 62,262	
実施内容	千波公園におけるパークPFI事業に関連し、新たにレイクサイドボウル跡地に駐車場を整備するため、跡地の整地工事を行ったほか、整備に必要な調査、測量及び設計を行った。	
課題	工事期間中は公園利用者の不便とならないよう配慮するとともに、公園利用者の利便性向上のため、早急に整備する必要がある。	
R3年度の対応方針	R3年度は、レイクサイドボウル跡地の駐車場整備のほか、道路改良等、周辺環境整備を進める。	

事業概要 偕楽園・千波湖周辺(千波公園等)の魅力づくり

担当課

具体的事業	千波湖の水質浄化の推進	公園緑地課
R2年度の実績・件数	千波湖導水施設整備事業 ・市施工分工事 2件 ・県施工分工事 1件	
R2事業費(千円)	予算額 915,000 決算額 175,900	
実施内容	国・県・市の連携により、本市のシンボル空間である千波湖の水質浄化を図り、親水性を向上させることを目的として、那珂川から桜川経由で毎秒3トンの水を千波湖へ導水することができるよう、千波湖導水施設の整備を実施した。	
課題	工事期間中は公園利用者の不便とならないよう配慮するとともに、アオコ発生を抑制し、きれいな千波湖を目指すため、早急に整備する必要がある。	
R3年度の対応方針	R3年度は、引き続き施設整備を進め、千波湖導水施設の年度内の完成を目指す。	

事業概要 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくり

担当課

具体的事業	歴史を感じられるイベントの開催	観光課
R2年度の実績・件数	・水戸学の道散策マップの増刷(10,000部) ・水戸学の道クイズラリーの実施(令和3年3月22日～) ・水戸大手門広場における歴史体験型イベントの開催(令和3年3月7日・14日)	
R2事業費(千円)	予算額 1,000 決算額 791	
実施内容	・弘道館・水戸城跡周辺地区を楽しみながら周遊してもらうことを目的に、水戸学の道クイズラリーを実施した。 ・令和元年度に整備が完了した水戸大手門広場(弘道館東側広場)において、歴史体験型イベント「水戸城de和～クショップ」を初開催した。	
課題	・水戸市体験型観光プログラム創出事業との連携を図るなど、効果的な開催方法について検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	・水戸観光コンベンション協会や民間事業者と連携を図りながら、通年的な集客を見込めるイベントを開催し、本市への誘客促進を図る。	

事業概要 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくり

担当課

具体的事業	弘道館・水戸城跡周辺地区の景観づくり	都市計画課
R2年度の実績・件数	2件 535,000円。 都市景観形成補助金交付要項に基づき、都市景観重点地区内における優れた都市景観づくりに寄与する行為に対する補助金の交付	
R2事業費(千円)	予算額 8,000 決算額 535	
実施内容	・屋外広告物の設置:1件 ・屋外広告物の改造:1件	
課題	補助金交付制度について、認知度を高め、市民理解を得るための制度の周知を積極的に行う必要がある。	
R3年度の対応方針	制度の活用を積極的に働きかけ、地区の歴史性を活かした都市景観の形成に努める。	

事業概要 ロマンチックゾーンの魅力づくり

担当課

具体的事業	保和苑の再整備	公園緑地課
R2年度の実績・件数	保和苑修景施設整備工事を実施(R3.5月末完成予定)。	
R2事業費(千円)	予算額 8,000 決算額 5,478	
実施内容	来園者が安全で快適に園内を散策し回遊できるよう、修景施設の整備や園路の改修を行う。	
課題	修景施設の整備及び園路の改修は、予算の都合上複数年にわたる整備となるため、来園者の長期に及ぶ理解と協力が必要となる。	
R3年度の対応方針	継続して修景施設(門)の整備及び園路の改修を予定している。	

事業概要 ロマンチックゾーンの魅力づくり		担当課
具体的事業	ロマンチックゾーンの魅力づくり(水戸のあじさいまつりの充実等)	観光課
R2年度の実績・件数	・第46回水戸のあじさいまつりは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、中止	
R2事業費(千円)	予算額 1,700 決算額 0	
実施内容	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、第46回水戸のあじさいまつりは中止とした。 ・まつりは中止としたが、あじさいの見頃の時期には、一定数の来苑者が見込まれ、保和苑周辺道路の渋滞が懸念されたことから、開催期間中の誘導、警備を実施した。	
課題	・ロマンチックゾーンの更なる魅力づくりを図るため、ゾーン内の学生や商店会とも連携しながら、若年層の誘客策や地元消費策を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	・開催にあたっては、感染症対策はもちろんのこと、地元との連携や若年層を意識した取組を検討、実施する。	
【事業名 自然資源を生かした交流拠点づくり】		
事業概要 セツ洞公園(英国式庭園)の魅力づくり		担当課
具体的事業	セツ洞公園の整備	公園緑地課
R2年度の実績・件数	セツ洞公園バリアフリー改修工事を実施(R3. 2. 15完成)。	
R2事業費(千円)	予算額 14,000 決算額 7,898	
実施内容	来園者の方々が安全で快適に園内を散策し回遊できるよう、英国式庭園として整備を進めるとともに、バリアフリー改修等を行う。	
課題	多大な事業費を要するため、補助事業(社会資本整備総合交付金)を活用しながらの整備を基本とするが、年々交付率が下がってきていることから、他事業との配分調整を行なう必要があり、整備の促進に影響がでている。	
R3年度の対応方針	継続してバリアフリー改修工事を予定している。	

事業概要 植物公園の魅力づくり		担当課
具体的事業	植物公園の再整備	公園緑地課
R2年度の実績・件数	観賞大温室・熱帯果樹温室等のリニューアル工事等の実施	
R2事業費(千円)	予算額 369,600 決算額 366,309	
実施内容	老朽化した施設や熱源の改修といった観賞大温室・熱帯果樹温室等の改修工事を行い、あわせて園内植栽の刷新を図り、新たな魅力を備えた温室づくりを行った。	
課題	・展示替えをしながらさらなる温室の魅力の向上を図る。 ・小吹清掃工場の跡地利活用計画と連携しながら、第2期リニューアル計画の策定を行なう必要がある。	
R3年度の対応方針	周辺道路に誘導看板を設置し、アクセスルートの整理を行うとともに、第2期リニューアルに向けて課題の整理を行う。	

事業概要 森林公園周辺の魅力づくり		担当課
具体的事業	森林公園の再整備	農政課
R2年度の実績・件数	森のシェーブル館の再整備方法に関する検討・調整	
R2事業費(千円)	予算額 3,000 決算額 0	
実施内容	森林公園再整備事業計画の全体額を明確化するため、森のシェーブル館の再整備方法について検討・調整した。	
課題	新型コロナウイルス感染拡大による財政状況の悪化等により、森林公園再整備計画の内容全てを実施できる可能性は低い。実施の優先順位を判断するためにも、森のシェーブル館再整備の事業費の確定が必要である。	
R3年度の対応方針	森のシェーブル館の再整備方針を決定する。	

事業概要 森林公園周辺の魅力づくり		担当課
具体的事業	農業体験イベント、自然環境体験プログラム等の充実	農政課
R2年度の実績・件数	農業体験イベント31回、自然環境体験イベント3回、健康増進イベント4回、その他イベント3回実施	
R2事業費(千円)	予算額 2,550 決算額 1,457	
実施内容	野菜作り体験、イモ掘り体験、そば栽培体験、果物収穫体験等農業体験イベント等を実施した。 植樹祭、昆虫観察会等自然環境体験イベント等を実施した。 ヨガ、体操等健康増進イベントを実施した。 グリーン作戦、工作等その他イベントを実施した。	
課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント参加定員を減らしたり、飲食を伴うイベントは中止とする等している。イベントでは地元果樹農家の果物等を買って使う等しているが、新型コロナウイルス感染拡大に対応しながら地域振興にも貢献していく必要がある。	
R3年度の対応方針	新型コロナウイルス感染が収束しない場合、果物の収穫祭は、試食を無くして収穫体験等を実施する他、そば打ち体験が組み込まれているイベントは、そば昼食を提供する方法に変更する等、感染拡大防止に努めながらイベントを実施していく。	

**基本目標Ⅲ 結婚・出産・子育てを応援する
 具体的施策(1) 安心して子どもを産み育てることのできる環境の充実**

【事業名 保育所待機児童対策の推進】		担当課
事業概要 民間保育所の増改築支援		
具体的事業	民間保育所の増改築支援事業	幼児教育課
R2年度の実績・件数	民間児童施設増改築等整備事業費補助金 1施設完成(わかな保育園(R1年度選定)) 2事業者選定(見和めぐみ保育園, 千波保育園)	
R2事業費(千円)	予算額 510,300(現年340,200, R1繰越170,100) 決算額 170,100	
実施内容	老朽化する民間保育所の建て替え支援として, 定員20人増を要件とすることで, 保育所待機児童の解消に努める。	
課題	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた工事スケジュール等の管理が必要である。	
R3年度の対応方針	工事の進捗を見極め, 利用者に受け入れ枠の周知を図り, 定員増分を受け入れる。 3事業者完成(石川保育園(R1年度選定), 見和めぐみ保育園, 千波保育園)	
事業概要 保育士の確保		担当課
具体的事業	保育士の確保	幼児教育課
R2年度の実績・件数	保育士等就労支援補助金交付実績 31人 新卒保育士等就労奨励補助金交付実績 44人 保育体制強化事業補助金交付実績 5園 保育補助者雇上強化事業補助金交付実績 2園	
R2事業費(千円)	予算額 46,096 決算額 10,805	
実施内容	保育士等就労支援補助金制度をホームページや広報誌等でPRし, 31人の潜在保育士を確保するとともに, 大学等を通して新卒保育士等就労奨励補助金制度を周知し, 44人の新卒保育士を確保した。 また, 設備や遊具の清掃, 給食の配膳, 寝具の用意等保育の周辺業務を担う保育補助者や保育士資格の取得を目指す者を雇用する保育体制強化事業及び保育補助者雇上強化事業を実施し, 保育士の負担軽減を図ることにより, 離職防止に努めた。	
課題	保育士不足により定員まで児童を受け入れることのできない保育所が多数生じていることから, さらなる保育士の確保が必要である。	
R3年度の対応方針	引き続き, 上記事業を実施するとともに, 各事業のさらなるPRに努める。	

【事業名 放課後児童対策の推進】		担当課
事業概要 開放学級・放課後子ども教室の充実, 学童クラブの支援		担当課
具体的事業	開放学級・放課後子ども教室の充実, 学童クラブの支援	放課後児童課
R2年度の実績・件数	13校の開放学級及び放課後子ども教室について, 一体的な運営の民間事業者への委託運営に係る補助金交付対象の学童クラブの19クラブから20クラブへの拡大	
R2事業費(千円)	予算額 830,600 決算額 717,091	
実施内容	令和元年度の民間活力活用モデル事業の成果を踏まえ, 33校のうち13校の開放学級及び放課後子ども教室の一体的な運営を民間事業者に委託した。両事業の運営を同一の事業者へ委託することにより, 一体的な運営による実施内容の充実を図った。 また, 民間学童クラブについて, 20クラブを対象に, 運営費の一部を助成した。	
課題	開放学級及び放課後子ども教室の運営について, 民間委託後も, 学校や地域とも引き続き連携して事業を実施していく必要がある。	
R3年度の対応方針	令和3年度からは全校において, 開放学級及び放課後子ども教室の一体的な運営を委託し, 開放学級の平日の開設時間を午後6時30分まで, 放課後子ども教室の実施回数を年間30回以上とする。 保護者の様々なニーズに対応するため, 民間学童クラブへの助成を継続する。	
事業概要 開放学級支援員の確保		担当課
具体的事業	開放学級支援員の確保	放課後児童課
R2年度の実績・件数	開放学級支援員(直営20校)を340人任用	
R2事業費(千円)	予算額 0(開放学級・放課後子ども教室の充実を含む) 決算額 0(開放学級・放課後子ども教室の充実を含む)	
実施内容	直営で運営する20校の開放学級について, 年度当初304人であった支援員を, 継続的に広報みやホームページ, ラジオや大学等を通じた募集を行うことで, 36人増員した。	
課題		
R3年度の対応方針	令和3年度からすべての開放学級の運営を民間事業者へ委託するため, 広報みやホームページでの支援員募集を継続し, 民間事業者の運営に助力する。	
事業概要 放課後学力サポート事業の充実		担当課
具体的事業	放課後学力サポート事業の充実	放課後児童課
R2年度の実績・件数	小学校30校において放課後学力サポート事業を実施	
R2事業費(千円)	予算額 0(開放学級・放課後子ども教室の充実を含む) 決算額 0(開放学級・放課後子ども教室の充実を含む)	
実施内容	退職教員や大学生等を指導者として活用し, 放課後等に自主学習の場を提供し, 望ましい学習習慣を身に付け, 学力の向上を図っている。令和2年度については, 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため, 一部の学校で中止したものの, 30校で実施した。	
課題	実施内容については, 各校の実情に沿ったものとなるよう, 学校等との連携が重要である。	
R3年度の対応方針	令和3年度からは, 市内全校において, 開放学級及び放課後子ども教室の一体的な運営を民間事業者へ委託する。あわせて, 放課後子ども教室の実施回数30回のうち, 24回以上は学習支援活動を実施することとし, 事業の充実に努める。	

【事業名 地域における子育て支援の充実】		担当課
事業概要 わんぱく・みと、はみんぐぱく・みとを核とした子育て支援・多世代交流の推進		担当課
具体的事業	子育て支援・多世代交流センターの管理・運営	子ども課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・一般利用者 12,920人 ・子育て相談 218人 ・一時預かり事業利用者 2,299人 	
R2事業費(千円)	予算額 107,007 決算額 98,895	
実施内容	「わんぱく・みと」及び「はみんぐぱく・みと」において、子どもを中心とした様々な世代の方が集い、ふれあうことで、世代を超えての交流や、子育ての悩み相談などを実施した。管理・運営については公益社団法人水戸市シルバー人材センターに委託し、月に1度、定例の打合せを実施している。	
課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営を継続するとともに、事業内容の充実に向けても取り組んでいく必要がある。	
R3年度の対応方針	子育て支援の推進に寄与する事業であることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していく。また、令和4年度からの5年間を期間とする、次期指定管理者の選定を行う。	
事業概要 市民センター子育て広場の拡充		担当課
具体的事業	市民センター子育て広場事業等	子ども課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ○市民センター子育て広場 27か所 利用者数 3,128人 ○子育てぽかぽか広場 2か所 利用者数 378人 	
R2事業費(千円)	予算額 6,045 決算額 3,280	
実施内容	市民センター等を活用し、地域団体等の協力により、乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる場を開設した。	
課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営を継続するとともに、事業内容の充実に向けても取り組んでいく必要がある。	
R3年度の対応方針	子育て支援の推進に寄与する事業であることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していく。また、開設計画に基づき、新規設置予定の市民センターにおける地域団体と調整を進めていく。	
事業概要 地域における子育て支援サービスの充実		担当課
具体的事業	ファミリー・サポート・センター事業	子ども課
R2年度の実績・件数	会員数 1,312人 活動件数 4,757件 (うち病児病後児預かり等 37件)	
R2事業費(千円)	予算額 13,060 決算額 12,460	
実施内容	子育ての援助を受けたい方と援助をしたい方が、お互い助け合う地域組織をつくり、子どもの預かりや送迎の援助活動を行った。	
課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの事業運営が必要である。	
R3年度の対応方針	子育て支援の推進に寄与する事業であることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していく。	

事業概要 地域における子育て支援サービスの充実		担当課
具体的事業	地域子育て支援拠点事業	子ども課
R2年度の実績・件数	民間保育所等 8か所 参加親子延べ数 12,862人 私立認定こども園 1か所 参加親子延べ数 1,112人 つどいの広場 1か所 参加親子延べ数 1,205人	
R2事業費(千円)	予算額 86,516 決算額 66,252	
実施内容	育児ノウハウをもつ保育所や認定子ども園に子育て支援拠点を設置し、親子が楽しめるイベントの開催のほか、自由に遊んだり他の親子と交流するなど、子育て家庭を支援した。	
課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営を継続するとともに、事業内容の充実に向けても取り組んでいく必要がある。	
R3年度の対応方針	子育て支援の推進に寄与する事業であることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していく。	
具体的事業	地域子育て支援拠点事業	幼児教育課
R2年度の実績・件数	市立保育所3か所 参加親子延べ1,019組 市立認定こども園1か所 参加親子延べ342組	
R2事業費(千円)	予算額 114,207 決算額 26,224(幼児教育課)	
実施内容	地域において、子育て中の世帯の交流等を促進する拠点の充実を図ることで、地域の子育て支援機能を高め、親の子育ての不安感等を緩和した。	
課題	コロナ禍においても、感染症対策を講じながら、継続して実施する必要がある。	
R3年度の対応方針	引き続き、子育て中の世帯の相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供することにより、さらなる支援の充実に努める。	

事業概要 地域における子育て支援サービスの充実		担当課
具体的事業	訪問型病児保育事業	子ども課
R2年度の実績・件数	登録者数 43人(累計464人) 利用件数 23件	
R2事業費(千円)	予算額 7,280 決算額 5,039	
実施内容	保護者が就労などのために病気の子どもを看病できない場合、自宅に保育者が訪問し、子どもを一時的に預かった。	
課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの事業運営が必要である。	
R3年度の対応方針	子育て支援の推進に寄与する事業であることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していく。	

【事業名 多様な子育てニーズに対応した取組の推進】

事業概要 預かり保育等の充実		担当課
具体的事業	市立幼稚園における預かり保育の拡充	幼児教育課
R2年度の実績・件数	預かり保育延べ利用者数 3,022人	
R2事業費(千円)	予算額 4,256 決算額 2,411	
実施内容	令和3年4月に幼稚園型認定こども園に移行する石川幼稚園について、認定こども園移行後は、午後4時までの預かり保育時間を30分延長し、午後4時30分まで実施するとともに、長期休業期間も実施する体制を整えた。	
課題	保護者ニーズに合わせた日数を開設するため、幼稚園教諭又は保育士資格のある預かり保育指導員を確保することが必要である。	
R3年度の対応方針	令和4年4月に幼稚園型認定こども園に移行する園について、認定こども園移行後は、午後4時までの預かり保育時間を30分延長し、長期休業期間も実施する体制を整える。	

事業概要 預かり保育等の充実		担当課
具体的事業	民間保育所における休日保育の拡充	幼児教育課
R2年度の実績・件数	休日保育実施施設 23施設 休日保育延べ利用者児童数 50,741人	
R2事業費(千円)	予算額 102,374 決算額 102,374(運営費として支給している給付費のうち、休日保育加算分としての支出額)	
実施内容	日曜日、国民の祝日及び休日において年間を通じて開所し、休日等に常態的に保育を必要とする子どもを対象に保育を提供した。	
課題	休日保育を担当する保育士の確保が必要である。	
R3年度の対応方針	保護者のニーズを把握し、状況に応じて休日保育の新たな実施場所等の確保に向けた検討や施設に対する働きかけ等を行う。 施設に対し、保育士確保策として実施する事業の利用を奨励する。	

事業概要 病児・病後児保育の充実		担当課
具体的事業	病児保育事業	幼児教育課
R2年度の実績・件数	病児対応型 2か所 延べ利用者数69人 病後児対応 3か所 延べ利用者数242人 体調不良児対応型 1か所 延べ利用者数47人	
R2事業費(千円)	予算額 53,809 決算額 29,684	
実施内容	民間施設6か所に委託し、子どもが病気や病気の回復期であるため、保育所などでの集団保育が困難である場合に、専用スペースで一時的に子どもの保育を行った。	
課題	保育士・看護師等の確保が必要である。 委託料を利用児童数により支払う仕組みであり、事業者の安定的な運営の確保が課題となっている。 日によって、利用の有無に変動があり、利用児童の少ない日等において、地域の保育所等への情報提供や巡回支援の実施を依頼している。	
R3年度の対応方針	引き続き事業を実施し、事業のPRに努める。	

事業概要 子どもの発達支援の充実		担当課
具体的事業	子ども発達支援センター、通級指導教室、特別支援学級の連携による支援等	障害福祉課
R2年度の実績・件数	【子ども発達支援センター】 ・集団活動による指導:延956人(グループ活動開始は6月。5月及び1～2月の一部期間は個別対応。) ・言語聴覚士による個別指導:延584人 ・臨床心理士による面談:延370人 ・臨床心理士による発達検査:延56人 ・社会福祉士による面談:延316人 ・巡回訪問指導:延145件 ・障害福祉サービス申請受付:31件	
R2事業費(千円)	予算額 192,502 決算額 62,160	
実施内容	子ども発達支援センターにおいて、発達に心配があると思われる子どもの早期発見、早期支援に取り組むとともに、保護者の不安軽減に努め、さらに、発達障害児を含む障害児に対する個々の発達に応じた適切な指導や就学前から18歳までの一貫した支援を行う。	
課題	R3年度から療育指導教室(幼児のことば・こころの教室)が教育部から移管される。スムーズに移管できるよう、関係各課と連携する。	
R3年度の対応方針	R3年度から療育指導教室(幼児のことば・こころの教室)が教育部から移管された。R3年度は、既存の3教室に加え、新たに五軒分室を開設し、1教室+個別の言語指導を行う。療育指導教室(幼児のことば・こころの教室)が福祉部に移管されたことにより、就学前の幼児に対して一貫した指導が行えるようになる。	

事業概要 子どもの発達支援の充実		担当課
具体的事業	子ども発達支援センター, 通級指導教室, 特別支援学級の連携による支援等	幼児教育課, 教育研究課
R2年度の実績・件数	通級指導教室の運用: 小中に11クラス 138人の児童生徒が在籍 特別支援学級の設置: 小中に132クラス	
R2事業費(千円)	予算額 192,502 決算額 0	
実施内容	通常の学級に在籍している軽度の障害のある児童に対して, その障害に応じた特別の指導を行い, 障害の改善・克服を目的とした通級による指導を行う通級指導教室を設置している。 また, 知的障害特別支援学級, 自閉症・情緒障害特別支援学級とその障害に応じた特別の指導を行う教室を設置している。	
課題	特別な支援が必要な児童が年々増加しており, 担当する教員の確保が課題となっているため, 特別支援教育に関する研修を計画的に行い, 今後の学級数増加に備える必要がある。	
R3年度の対応方針	令和3年度から浜田小学校にLD/ADHD通級指導教室を開設した。既存の通級指導教室とともに, 各学校へ周知を図り, 効果的な運用に資する。 特別支援教育の今後を見据えた研修計画を作成する。	

【事業名 妊娠・出産, 子どもの医療に係る支援の充実】

事業概要 子どもの医療費の助成		担当課
具体的事業	妊産婦, 子ども医療費助成	国保年金課
R2年度の実績・件数	医療給付状況 妊産婦 11,493件 97,477,097円 子ども 333,237件 588,721,777円	
R2事業費(千円)	予算額 860,000 決算額 686,198	
実施内容	令和2年10月から, 子ども医療助成の対象を, 高校生相当の外来診療分に係る医療費にも拡充し, 18歳年度末までの入院・外来すべてを対象とした医療費助成制度を整備した。	
課題	すべての対象者から申請されていないことから, 制度について広く市民への周知を図っていく必要がある。	
R3年度の対応方針	健康の維持増進と生活の安定を図るため, 引き続き医療費の一部助成を行うとともに, 有資格の未申請者に対して申請の勧奨を行うなど制度の周知を図る。	

事業概要 不妊・不育症治療費の助成		担当課
具体的事業	不妊・不育症治療費の助成	地域保健課
R2年度の実績・件数	不妊治療費助成 383件 94,247,424円 不育症治療費助成 2件 86,550円	
R2事業費(千円)	予算額 94,334 決算額 94,334	
実施内容	中核市として県と協力し国の不妊治療費助成制度の円滑な運用に努めた。 不妊に悩む夫婦に不妊治療費(体外受精又は顕微授精)の一部を助成した。 不育症(流産、死産等が2回以上連続して起きたことをいう。)治療(検査を含む。)を受ける夫婦に不育症治療費の一部を助成した。 制度改正のため補正予算で対応した。	
課題	所得制限の撤廃、事実婚の助成対象化など制度変更が多いため対象者への丁寧な説明が必要である。	
R3年度の対応方針	不妊治療について、令和4年度からの保険適用開始が予定されているため、国制度の改正について適切に対処する。 不育症検査費に対する国の助成制度がスタートしたため、市の制度に含める形で拡充を図る。	

事業概要 妊産婦の健康診査、すまいるママみとにおける相談等の支援の充実		担当課
具体的事業	妊産婦支援の推進	地域保健課
R2年度の実績・件数	母子保健コーディネーター(保健師、助産師)を4名配置し、相談件数1,781件 産後ケア：通所型 委託機関4か所 利用者 30件 訪問型 委託機関2か所 利用者 9件 宿泊型 委託機関3か所 利用者 20件 母乳育児相談 利用者 291件	
R2事業費(千円)	予算額 3,364 決算額 1,916	
実施内容	母子保健コーディネーターが、妊娠届出等から支援の必要な妊産婦を把握し、支援プランを作成。関係機関等と連携しながら電話、面接、家庭訪問等により支援した。産後ケアでは、産後4か月までの支援が受けられず、心身の不調や育児不安等がある者に、産科医療機関及び茨城県助産師会に委託し、通所・宿泊・家庭訪問により、母体管理及び生活指導、乳房管理、沐浴・授乳指導等を実施した。また、母乳育児相談として、出産後1年までの産婦及び乳児を対象に、産科医療機関及び茨城県助産師会に委託し、乳房管理、授乳指導、卒乳等に関する相談等を実施した。	
課題	産科医療機関との情報共有が図られ、連携が強化されてきた。さらに精神科等関係機関との連携機関との連携強化を図る必要がある。また、産後は出産直後のみならず5か月以降も自殺が認められるなどメンタルヘルスケアが求められている。そのため、産後ケアでは産後4か月以降にも利用できることが望ましい。	
R3年度の対応方針	産科医療機関のみならず、精神科等関係機関との連携を図っていく。産後ケアについては、利用期間を産後1年未満、利用回数を一人7回までと拡大し、実施機関としても精神科医療機関を追加する予定である。	

【事業名 結婚支援の推進】		担当課
事業概要 結婚支援施策の推進		
具体的事業	結婚ときめきプロジェクト	子ども課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いの場の創出となるイベント 新型コロナウイルスのため中止 ・ 結婚新生活支援補助金 65件交付 	
R2事業費(千円)	予算額 14,100 決算額 12,089	
実施内容	新婚世帯に対し、結婚に伴う費用(住宅の賃借費、引越費等)を最大30万円まで補助した。	
課題	コロナ禍において、若い世代の出会いや交流の機会を提供するための効果的な方法について、検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	感染症の流行による人々の意識変化をとらえながら、若い世代の結婚や子育てに関する意識の醸成に努めるとともに、新婚世帯に対する新生活支援を推進する。	

具体的施策(2) 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進

【事業名 水戸スタイルの教育の推進】		担当課
事業概要 チャレンジプランの推進		
具体的事業	学力向上サポーターの充実	教育研究課
R2年度の実績・件数	学力向上サポーター54名を全校に配置。大規模小学校(25学級以上)5校(緑岡小、梅が丘小、千波小、笠原小、吉田小)及び国田義務教育学校に複数配置 個に応じたきめ細かな支援をすることで「算数が分かるようになった」「算数が好きになった」と答える児童生徒が90%を超える学級が増加	
R2事業費(千円)	予算額 62,555 決算額 54,492	
実施内容	本市の児童生徒の学力向上を目指し、学力向上サポーターを全校に配置し、習熟度別学習や少人数指導等、個別指導の充実を図る。	
課題		
R3年度の対応方針	学校の実態に沿った指導体制の確立を位置付け、習熟度別学習等、個に応じた学習指導を充実させるため、学力向上サポーターの効果的な配置と活用を行い、水戸市の児童生徒の学力向上を図る。また、学級がうまく機能しない場合には、担任と学力向上サポーターの複数で対応し、各学校において効果的な活用を図る。	

事業概要 チャレンジプランの推進		担当課
具体的事業	家庭での学習習慣の定着に向けた取組の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	小学校4年生対象「家庭学習スタートノート」の作成・配布(2,500部×3冊)	
R2事業費(千円)	予算額 1,255 決算額 585	
実施内容	小学校4年生を対象に「家庭学習スタートノート～小学4年生～(1学期・2学期・3学期)」を配布し、家庭と連携を図りながら、児童が自主的・計画的に家庭学習を行う望ましい習慣を身に付けられるようにする。	
課題	小学校4年生の令和元年度県学力診断テストの結果は、県の平均を下回っている。小学校4年生を対象とした「家庭学習スタートノート」を活用し、見直しをもって自主的・計画的に学習する習慣を身に付けさせる必要がある。	
R3年度の対応方針	学期ごとに作成した「家庭学習スタートノート」を市内全小学校4年生に配布し、望ましい家庭学習習慣を身に付けられるように、家庭と連携しながら効果的に活用していく。	

事業概要 グローバルプランの推進		担当課
具体的事業	英会話力の向上	教育研究課
R2年度の実績・件数	小学校6年生対象のイングリッシュ・キャンプについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止	
R2事業費(千円)	予算額 173 決算額 0	
実施内容	学習指導要領及び「生徒の英語力向上プラン(文部科学省H27)」を踏まえ、さらなるグローバル化に対応できる人材育成(指導者の育成を含む)に向けた英語(英会話)教育の充実を図る。	
課題	茨城県が実施している「英検IBA」の結果から、英検3級程度以上の学力を有するにも関わらず、英検を受検しない生徒が多く、英検を受検すれば、合格する確率が高いことが見込まれる。英検3級の受検や取得により、子どもたちの英語に対する意欲や関心を増幅させることができる。	
R3年度の対応方針	小学校6年生対象のイングリッシュ・キャンプを、夏休みに実施する。	

事業概要 グローバルプランの推進		担当課
具体的事業	ICTを活用した情報教育の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	ICTの活用に関する研修(12回) ICT支援員の配置(4人) GIGAスクールサポーターの配置(10人) 指定校2校における1人1台端末環境の実践研究 (下大野小, 第一中)	
R2事業費(千円)	予算額 28,146 決算額 27,304	
実施内容	学校におけるICTを活用した情報教育の推進を支援するため、教員研修やICT支援員による支援を行った。 国の掲げる「GIGAスクール構想」に基づき、本市においても、児童生徒1人1台の学校教育用タブレット端末と高速・大容量の情報通信ネットワークを整備し、令和3年度からの本格的な実施に向け、GIGAスクールサポーターの配置や指定校による実践研究を行った。	
課題	緊急時におけるICT機器を活用した学びの保障とともに、教員のICT活用能力の全体的な底上げが課題である。	
R3年度の対応方針	児童生徒1人1台端末環境における授業実践を積極的に進めていくため、教員研修やICT支援員による学校支援、課内に新たに設置した情報教育係を中心とした運用管理など、GIGAスクール構想が円滑に進められるよう、運営体制の確立を目指す。	

事業概要 グローバルプランの推進		担当課
具体的事業	次世代リーダーの育成	教育研究課
R2年度の実績・件数	小学校6年生, 中学校1年生を対象に、「次世代エキスパート事業」や「防災リーダー育成事業」を予定していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止	
R2事業費(千円)	予算額 1,427 決算額 6	
実施内容	各分野において、国内外で活躍できる人材の育成を目指した「次世代エキスパート事業」や災害時に自ら判断し、行動できる人材を育成することを目的とした「防災リーダー育成事業」を実施している。	
課題	水戸市内の教育資源を最大限に生かし、学校を超えた同世代の仲間(児童生徒)が互いに切磋琢磨する場を提供するために、県立高校, IT短大, 観光コンベンション協会などとの連携・協力体制の構築が必要である。	
R3年度の対応方針	次世代エキスパート育成事業については、4コースを実施する(「ミニ・スーパーサイエンス」「まずmath数楽NEXT」「英語でおもてなしリーダー育成」「ICTエキスパート」)。 防災リーダー育成事業については、被災地の方々とオンライン学習会等を通して交流することで、復興の現状を体感し、防災意識の向上につなげる。	

事業概要 キャリアプランの推進		担当課
具体的事業	郷土教育の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	郷土「水戸」の特色ある教育内容を体系化し、系統的、継続的な指導による「水戸まごころタイム」での「水戸教学」の実施 社会科副読本として、小学校3・4年生用「みと」、小学校5・6年生用「水戸の歴史」、中学生用「水戸」を配布し、「水戸教学」の学習に活用 おもてなしボランティア等の活動については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	水戸の自然や歴史、文化、産業などについての理解を深めるとともに、地域に伝わる文化や伝統芸能の継承活動、副読本を活用した郷土教育などを通して、ふるさと水戸を愛する心の育成に努める。 おもてなしボランティア等の活動を通して、もてなしの心や社会に尽くす態度の育成に努める。	
課題	市内全校において、水戸城大手門や二の丸角櫓をはじめとする水戸の教育遺産について、より一層の理解を深め、郷土に対する愛着を深められるよう、学校行事の行程を工夫しながら、実際に現地を見学する機会の拡大に努める。	
R3年度の対応方針	心豊かなたくましい子どもの育成に向け、教師用資料集「水戸教学～次世代をリードする“水戸人”の育成のために～」を活用し、各校の実態に応じた年間指導計画の見直しを行い、郷土愛を基底として国際社会を生き、次世代をリードする人材を育成する。	

事業概要 キャリアプランの推進		担当課
具体的事業	水戸芸術館と連携した芸術教育の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	「小学生のための演劇鑑賞会」、「中学生のための音楽鑑賞会」、「劇団四季ミュージカル“こころの劇場”水戸公演」、「中学校合唱の祭典～芸術館で歌おう～」、「吹奏楽セミナー」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 「子どものための音楽会」は開催方法を変更し、希望のあった23校を水戸室内管弦楽団が訪問し、学校で演奏する「訪問コンサート」を実施	
R2事業費(千円)	予算額 11,745 決算額 0	
実施内容	子どもたちの豊かな感性や表現力を育むため、水戸芸術館等と連携しながら、一流の芸術に生で触れることのできる機会を提供する。	
課題		
R3年度の対応方針	「小学生のための演劇鑑賞会」、「子どものための音楽会」「中学生のための音楽鑑賞会」、「中学校合唱の祭典～芸術館で歌おう～」、「吹奏楽セミナー」を実施する。「中学校合唱の祭典」については、生徒主体のプロジェクト委員会を中心に企画・運営方法について話し合い、内容の充実を図る。	

事業概要 ふれあいプランの推進		担当課
具体的事業	いじめの未然防止等の取組の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	各校において、月1回以上のあいさつ運動やいじめ防止のための標語づくり、横断幕の作成などを実施 児童生徒のいじめや差別に対する意識を高める「CEPプログラム」によるワークショップを小学校12校、中学校1校において(全27回)実施 「SNSによるいじめに関する講演会」について、ITジャーナリストを講師に招き、対面による集会とあわせて、オンラインによる集会や動画視聴など、開催方法を工夫しながら実施	
R2事業費(千円)	予算額 3,000 決算額 2,409	
実施内容	いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向け、講演会等での地域・保護者と連携した意識啓発、児童生徒の問題解決意識の向上、いじめ相談ダイヤルやいじめ対応専門班の設置等に取り組む。	
課題	小中学生のスマートフォンや携帯端末の所持率が高まる中での、SNSによるトラブルの早期発見が課題である。	
R3年度の対応方針	「SNSによるいじめに関する講演会」への保護者の参加について、啓発をする。 いじめ青少年相談ダイヤルやいじめの実態調査を基に、いじめ対応専門班が積極的に各校に訪問して指導、助言を行う。	

【事業名 快適な教育環境の充実】

事業概要 学校施設の大規模改造等の推進		担当課
具体的事業	学校施設の大規模改造等の推進(校舎, 屋体)	学校施設課
R2年度の実績・件数	○ 工事 校舎 上大野小 (令和元・2年度継続事業2年目) 吉田小(Ⅱ期) (令和2・3年度継続事業1年目) 酒門小(Ⅰ期) (令和2・3年度継続事業1年目) 渡里小(仮設校舎設置のみ) 屋体 三の丸小 (令和2年度現年分 令和3年度完了見込み) ○ 設計 校舎 酒門小(Ⅰ・Ⅱ期) 渡里小 屋体 三の丸小	
R2事業費(千円)	予算額 2,084,700 決算額 313,183	
実施内容	構造体の劣化対策や、電気・給排水設備等のライフラインの更新により、建物の耐久性を高めるとともに、快適で機能的な教育環境を確保し、多様な形態での学習活動に柔軟に対応できるようにする。	
課題	学校施設長寿命化計画に基づき、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を図るため、計画を適宜見直しながら実施していく必要がある。	
R3年度の対応方針	○ 工事 校舎 吉田小(Ⅱ期) (令和2・3年度継続事業2年目) 酒門小(Ⅰ期) (令和2・3年度継続事業2年目) 酒門小(Ⅱ期) (令和2～4年度継続事業2年目) 渡里小 (令和2～4年度継続事業2年目) 屋体 三の丸小 (令和2年度繰越明許 令和3年度完了見込み) ○ 設計 校舎 石川小	

事業概要 小・中学校校舎のトイレ洋式化の推進		担当課
具体的事業	小・中学校校舎のトイレ洋式化の推進	学校施設課
R2年度の実績・件数	○ 大規模改造 工事 五軒小学校 設計 赤塚中学校 ○ トイレ洋式化工事・温水洗浄便座設置 小学校2校（寿小，石川小の一部） 中学校3校（第三中，飯富中，石川中） 義務教育学校1校（国田）	
R2事業費（千円）	予算額 826,700 決算額 159,793	
実施内容	快適な教育環境の整備として、全ての学校校舎トイレの洋式化を進める。	
課題	洋式トイレは、和式トイレに比べ、設置スペースを必要とすることから、トイレ基数が減少する可能性がある。	
R3年度の対応方針	○ 大規模改造 工事 赤塚中学校 トイレ洋式化工事 小学校13校（城東小，稲荷一小，稲荷二小，三の丸小，新莊小，緑岡小，河和田小，妻里小，赤塚小，上中妻小，梅が丘小，堀原小，内原小） 中学校9校（千波中，第一中，第四中，常澄中，第二中，緑岡中，笠原中，内原中，双葉台中）	

【事業名 豊かな人間性を育む学校教育の推進】

事業概要 小中一貫教育の推進		担当課
具体的事業	水戸まごころタイム等の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	・小中一貫連絡協議会の実施（感染症対策によりオンライン会議） ・児童・生徒の相互交流や教職員の連携・研修の実施（感染症対策により規模を縮小）	
R2事業費（千円）	予算額 0 決算額 0	
実施内容	・水戸らしい教育を体系化し、本市独自の義務教育9年間を見通した系統的・継続的な特色ある教育活動を推進し、小中一貫教育の充実を図る。	
課題	・各中学校区の課題や特色、目指す児童生徒の姿等に基づいた実践等を推進していく中で、施設一体型、施設隣接型、施設分離型など、運営体制や学校規模に違いがあり、距離的な面で児童・生徒の相互交流や教職員の連携・研修の時間の十分な確保が難しい。	
R3年度の対応方針	・感染症対策を行いながら、各中学校区における小中相互の授業参観・合同教科部員会の実施及び学校ホームページ「小中一貫コーナー」の充実を図り、小中一貫教育を推進していく。	

事業概要 学校の特色を生かした教育の推進		担当課
具体的事業	小規模特認校制度による教育の推進等	学校管理課, 教育研究課
R2年度の実績・件数	制度利用人数(R2年3月31日現在) 70人 上大野小学校 11人 下大野小学校 3人 大場小学校 8人 国田義務育学校(前期課程) 41人 国田義務育学校(後期課程) 7人	
R2事業費(千円)	予算額 163 決算額 88	
実施内容	少人数の特徴を生かし, 特色ある教育活動を展開している学校を「小規模特認校」に指定し, 通学区域に関係なく, 市内のどこからでも就学を認め, 学校の特色を生かした教育を推進している。	
課題	小規模特認校制度の導入から3年が経過する3校(上大野小, 下大野小, 大場小), これまでの取組を評価・検証し, さらなる特色ある教育活動の展開について協議・検討する。また, 各校の特色ある教育活動が広く市民に伝わるよう, 効果的に情報を発信する必要がある。	
R3年度の対応方針	学校の特色を生かした魅力的な教育活動がより一層展開されるよう, 学校と教育委員会の連携強化を図るとともに, 新たにラジオ放送で学校を紹介するなど, 市民への情報発信に努める。	

事業概要 こころの教育の推進		担当課
具体的事業	道徳教育, 人権教育の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	計画訪問において道徳科の授業を公開することによる, 授業への指導, 助言	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	子どもがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため, 自己を見つめ, 人間としての生き方について考えを深める学習を通して, 健やかな心を育成する。	
課題	教科書や教材と併せて副読本「道徳まごころ」を活用し, 「自分事」として捉え, 振り返ることができる道徳教育の充実を図る。	
R3年度の対応方針	水戸市独自の副読本「道徳まごころ」の題材と, 新しい小・中学校の道徳教科書の題材において, 同じ内容項目での差し替えを行い, 年間指導計画に位置付けて, 確実に「道徳まごころ」を活用する。	

事業概要 健康な体づくりの推進		担当課
具体的事業	体力アップ推進プランに基づく取組の推進	教育研究課
R2年度の実績・件数	各校が自ら作成した「体力アップ推進プラン」に基づく学習活動の実施 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、体力テストは中止したが、活動内容を工夫し、個人技術の習得を中心に活動	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	子どもが生涯にわたって運動に親しむことができる資質や能力を高めるため、発達段階や系統性を踏まえた取組を進め、健康の保持増進と体力の向上に努めるとともに、定期健康診断等による疾病、異常等の早期発見や学校環境衛生の充実を図り、子どもの健康維持に努める。	
課題	投力に苦手傾向がみられるので、児童生徒の投力アップに努める必要がある。	
R3年度の対応方針	要請訪問や研修会の開催及び「体力アップ推進プラン」を基にした教員の授業改善や指導力向上に努めるとともに、苦手傾向がみられる児童生徒の投力アップを踏まえた体力の向上に努める。 体力テストA+Bの割合について、小学校・義務教育学校(前期課程)60%、中学校・義務教育学校(後期課程)65%を目標として実施する。	

事業概要 健康な体づくりの推進		担当課
具体的事業	放課後子ども教室におけるスポーツ体験の実施	スポーツ課, 放課後児童課
R2年度の実績・件数	放課後子ども教室の事業として、小学校3校でスポーツ活動を実施	
R2事業費(千円)	予算額 0(放課後子ども教室事業で実施) 決算額 0(放課後子ども教室事業で実施)	
実施内容	卓球, スポーツ鬼ごっこ, ペタンク等を放課後子ども教室の活動の中で実施した。	
課題	放課後子ども教室の年間実施回数の中で、学力サポート事業とスポーツ体験の回数のバランスを図りながら、実施していく必要がある。	
R3年度の対応方針	令和3年度からは、市内全ての小学校において、放課後子ども教室の運営を民間事業者へ委託するため、指導者の情報等を民間事業者へ提供する。	

事業概要 学校図書館の充実		担当課
具体的事業	子どもの読書環境の整備	中央図書館
R2年度の実績・件数	全ての小中学校に対する、司書資格を持つ学校図書館支援員9名計1,648回の派遣 蔵書のデータベース化を進め、43,143冊を登録 学校に積極的に働きかけ、図書館利用のオリエンテーションを小学校で延べ62回実施	
R2事業費(千円)	予算額 37,991 決算額 37,161	
実施内容	各校を学校図書館支援員が定期的に巡回支援し、蔵書のデータベース化を進めたことにより、蔵書管理システムによる図書の貸出・返却が低学年から始められるなど、学校図書館の利便性が向上しつつある。児童が自ら積極的に図書館を利活用できるよう、図書館の基本的な仕組みや過ごし方についてのオリエンテーションを実施した。	
課題	学校図書館にある約60万冊の蔵書のデータベース化を進めており、水戸市図書館基本計画(第3次)の計画期間である令和5年度を完了の目標としている。しかしながら、支援事業の内容がデータベース化作業に偏ることなく、子どもたちへの読書支援も十分に行っていかなければならない。	
R3年度の対応方針	引き続き、巡回支援を行いながら、データベース化を推進するとともに、中休みや昼休みなど、子どもたちが学校図書館を利用する時間帯においては、読書に関する相談や図書館運営の支援などを行う。また、学校との連携のもとで、図書館の使い方を伝えるオリエンテーションを積極的に実施する。	

事業概要 学校給食における食育の推進		担当課
具体的事業	学校給食における食育の推進	学校保健給食課
R2年度の実績・件数	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に留意しながら、各種事業を展開 食育講演会については実施方法を変更し、水戸ヤクルト販売㈱と協働で食育動画を制作し、水戸市YouTubeに公開 学生食育サポーターについては、学校への派遣が困難な状況であることから、食育啓発資料や食育紙芝居等の作成を中心に活動 地場産物の活用 63.3%	
R2事業費(千円)	予算額 315 決算額 0	
実施内容	水戸市産コシヒカリ使用の米飯給食の実施 週3.1回 地場農産物の活用促進事業として、市内や県内の食材を使用した学校給食を提供した。 学生食育サポーターによる食育資料を作成(リーフレット、紙芝居など71点)した。 水戸ヤクルト販売㈱と協働で食育動画「ウイルスに負けない体づくりのための食事」を制作し、YouTubeで広く市民に発信した。 栄養教諭等による食に関する指導を全校で実施した。	
課題	地場産物の更なる活用促進を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	・学校給食におけるさらなる食育の推進に向け、引き続き水戸ヤクルト販売㈱と協働で食育動画を作成するとともに、学生食育サポーターの成果を発信する場として食育動画を活用できるか検討する。	

事業概要 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実		担当課
具体的事業	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	教育研究課
R2年度の実績・件数	水戸市教育支援委員会審議件数:448件(うち新学齢児190件) 特別支援教育支援員の配置数:197件(小学校159件, 中学校17件, 幼稚園21件)	
R2事業費(千円)	予算額 151,911 決算額 140,105	
実施内容	特別支援学級への入級, 通級指導教室への通級, 特別支援学校への在籍変更等について審議し, その障害の特性や発達段階等に応じた適切な教育の支援に努めた。 特別支援教育支援員を必要に応じて配置し, 支援の充実を図った。	
課題	教育支援委員会の調査員については, 多くを学校の教員に依頼しているが, 調査員のなり手が不足している。それに伴い, 1人の調査員が引き受ける調査数が増えている。 特別支援教育支援員の配置人数の増加により, 支援員の人材確保に苦慮している。	
R3年度の対応方針	各学校へ適宜訪問し, 児童生徒への対応について助言等を行うことができる体制について検討する。	

具体的施策(3) 移住・定住の推進

【事業名 移住支援の推進】

事業概要 まちなか住みかえの推進

担当課

具体的事業	まちなかライフスタイル発信事業	商工課
R2年度の実績・件数	民間まちづくり会社における, 独自に策定した中心市街地のプロモーション戦略に基づく, まちなかのライフスタイルを発信するホームページ運営やプロモーション冊子の発行・ウェブマガジン「TRIX MAG.」による情報発信 2回	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	民間まちづくり会社において実施する新しいライフスタイルを提唱するプロモーション事業を支援するとともに, 未来の地域づくりを担う人材を育成するため水戸で魅力的な働き方や暮らし方をしている方々を紹介する事業を民間団体と協働で実施するなど, イメージアップと活力向上に向けた各種事業に取り組む。	
課題	民間事業者とのさらなる連携に向けた検討をしていく必要がある。	
R3年度の対応方針	中心市街地のイメージアップや活力向上につながることから, 引き続き事業者等の取組を支援する。	

事業概要 まちなか住みかえの推進

担当課

具体的事業	子育て世帯まちなか住みかえ支援事業	住宅政策課
R2年度の実績・件数	令和2年度から, 対象エリアの拡大等を含めた制度の見直しを行い, 『子育てまちなか住宅取得補助金』として制度を実施 17件	
R2事業費(千円)	予算額 26,000 決算額 5,860	
実施内容	三の丸, 五軒, 新荘, 常磐小学校区の居住誘導区域に住宅を取得した中学生以下の子どもがいる世帯に対し, 住宅取得費用の一部を補助した。	
課題	制度見直し直後の年度であったこともあり, 目標の達成に至らなかったことから, さらなる周知に努める必要がある。	
R3年度の対応方針	子育て世帯に対する認知度の向上を図るため, 住宅販売メーカーや金融機関など, 住宅取得に関連する機会を捉えた周知を行う。	

事業概要 住生活支援情報の提供

担当課

具体的事業	住生活情報提供事業	住宅政策課
R2年度の実績・件数	茨城県居住支援協議会総会の開催(6月) (感染拡大防止のため書面による開催)	
R2事業費(千円)	予算額 0	
	決算額 0	
実施内容	居住支援活動のための市場ニーズ調査や居住支援の取り組みを行っている団体の調査などについて報告があった。	
課題	宅建協会や居住支援団体などとの情報共有の場であるが、感染拡大防止の観点から開催が困難となっている。	
R3年度の対応方針	協議会の主体である茨城県からの要請に基づき、引き続き参加する。	

事業概要 住生活支援情報の提供

担当課

具体的事業	JTIマイホーム借上げ制度普及事業	住宅政策課
R2年度の実績・件数	JTIマイホーム借上げ制度の周知 市報掲載(7月15日号)	
R2事業費(千円)	予算額 0	
	決算額 0	
実施内容	JTIマイホーム借上げ制度について、市報及びホームページへ掲載した。	
課題	市民を集めたセミナー形式の説明会等が開催できないため、インターネットを活用した周知方法を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	引き続き広報やホームページを活用した周知を継続するとともに、新たな周知方法についても検討を進める。	

事業概要 東京圏からの移住促進

担当課

具体的事業	わくわく茨城生活実現事業等	住宅政策課
R2年度の実績・件数	茨城県と共同して実施する「わくわく茨城生活実現事業」に基づく移住支援金の支給 0件	
R2事業費(千円)	予算額 6,600	
	決算額 0	
実施内容	東京圏から移住して就業又は起業等しようとする方に対し移住支援金を給付する。	
課題	茨城県が設置するマッチングサイトに掲載された企業への就業が要件となっているが、掲載企業数が少ないことから、申請に至らない状況となっている。	
R3年度の対応方針	国の制度見直しにより、対象者要件が追加となったことから、引き続き目標達成に向けて制度の活用を促進する。	

事業概要 関係人口の創出に向けた取組の推進		担当課
具体的事業	関係人口の創出に向けた取組の推進	政策企画課, 市民税課, 農政課
R2年度の実績・件数	ふるさと納税サイト等を通して水戸黄門ふるさと寄附金への寄附を募集 寄附件数 10,856件 寄附金額 194,374,512円 本市での就農及び定住意欲のある者として地域おこし協力隊を2名雇用	
R2事業費(千円)	予算額 162,951 決算額 101,654	
実施内容	ふるさと納税サイトや広告等を通して水戸市の特産品等をPRするとともに、寄附者への謝礼品として水戸市の特産品等を贈った。 雇用した2名の協力隊員が、それぞれJA水戸水戸地区ねぎ生産部会、水戸観光果樹園芸組合で農業研修を開始した。	
課題	新規特産品の開拓等により寄附額を増加させる取組が必要である。 地域おこし協力隊の地域協力活動の活性化を図る取組が必要である。	
R3年度の対応方針	本市への寄附の増加に向けて、チラシ配布、新聞・インターネット有料広告の掲載によるPR、新規特産品等の随時追加によるメニューの充実を図る。あわせて寄附者への感謝の意を伝えるものとして、リーフレットを送付する。 地域おこし協力隊の地域協力活動の活性化に向けて、近隣市町村と共に調査・研究を進める。	

【事業名 既存ストックの有効活用の促進】

事業概要 住宅リフォームの支援		担当課
具体的事業	住宅リフォーム助成事業	住宅政策課
R2年度の実績・件数	リフォーム工事に係る費用の一部を補助 206件	
R2事業費(千円)	予算額 20,000 決算額 19,620	
実施内容	市内の業者にリフォーム工事を依頼する方に対し、工事費用の一部を補助した。	
課題	申請件数が年々増加傾向にあり、4月1日の受け付け開始から、予算額に達するまでの期間が短くなってきている。(R1:10月中旬, R2:10月上旬)	
R3年度の対応方針	引き続き制度の実施を図る。	

事業概要 市営住宅の長寿命化型改修の推進		担当課
具体的事業	市営住宅長寿命化型改修事業	住宅政策課
R2年度の実績・件数	市営住宅の長寿命化改修を行うことによる、安全性及び居住水準の向上 屋根・外壁改修工事 5棟 給水管改修工事 3棟	
R2事業費(千円)	予算額 243,000 決算額 177,160	
実施内容	河和田住宅701棟外1棟屋根・外壁改修工事 河和田住宅800棟外2棟屋根・外壁改修工事 河和田住宅601棟外2棟給水管改修工事 河和田住宅等大規模改修工事实施設計業務委託	
課題	建物の老朽化が著しく早急な改修が求められているが、現状は長寿命化計画のスケジュールから遅れが生じている。	
R3年度の対応方針	屋根・外壁改修工事 7棟 給水管改修工事 2棟 昇降機改修工事 1基	

基本目標Ⅳ 誰もが安全で安心して健やかに暮らせる、個性輝くまちを創る
具体的施策(1) 健やかに暮らせる環境づくり

【事業名 安心して医療サービスを受けることができる環境づくり】

事業概要 地域医療体制の確立		担当課
具体的事業	公的病院等の運営支援	保健総務課
R2年度の実績・件数	小児・周産期・救急等不採算医療の運営費補助:176,300千円 新型コロナウイルス感染症対応に係る緊急支援:80,000千円	
R2事業費(千円)	予算額 256,300 決算額 256,300	
実施内容	市民が安心して医療サービスを受けることができる地域医療環境の確立に向け、救急や周産期などの不採算医療等の機能を担う市内の公的病院等に支援を行った。 また、新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症患者の対応、救急患者の受入れ等に対する経費が増大したことから、補正予算により緊急支援を行った。	
課題	各公的病院等においても経営改善に取り組んでいるが、国が診療報酬を定めている中、改善し得る項目は限られており、引き続き不採算医療を提供するためには、継続した財政支援が必要である。	
R3年度の対応方針	市民が安心して子どもを産み育て、暮らすことができる環境を維持するためには安定的な医療提供体制の維持確保が必要であることから、引き続き不採算医療の運営支援を行う。 新型コロナウイルス感染症対応に係る支援については、国において支援が拡充されたことから、令和2年度で終了とする。	

事業概要 小児、周産期医療体制の確保		担当課
具体的事業	小児救急医療体制の確保	保健総務課
R2年度の実績・件数	水戸地域医療構想調整会議への参加及び意見交換	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	24時間対応可能な小児救急医療体制の構築に向けた医療機関をはじめとした関係機関、団体等との意見交換を実施する。	
課題	体制構築に向けて、実効性ある具体的な取組の検討が必要である。	
R3年度の対応方針	引き続き、水戸地域医療構想調整会議等における協議、検討を推進する。	

事業概要 小児、周産期医療体制の確保		担当課
具体的事業	小児科、産婦人科の医療機関開設支援	保健総務課
R2年度の実績・件数	実績なし	
R2事業費(千円)	予算額 債務負担90,000 決算額 0	
実施内容	市内で小児科又は産婦人科医療サービスを提供する医療機関に対し、開設資金等を補助することにより、医療機関の開設を促進し、安定した医療提供体制の維持・向上を図る。	
課題	これまで市の広報紙やホームページ、関係機関のホームページ等で制度の案内を行ってきたが、申請実績がなく、更なる制度の周知について方法を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	引き続き、喫緊の課題である小児科、産婦人科医療機関の開設を目指し支援を行う。	

事業概要 緊急診療体制の充実

担当課

具体的事業	休日夜間緊急診療所の運営					
R2年度の実績・件数	区分	内科	小児科	外科	歯科	合計
	休日(昼間)診療	876人	633人	608人	315人	2,432人
	夜間診療	1,287人	1,093人			2,380人
	計	2,163人	1,726人	608人	315人	4,812人
R2事業費(千円)	予算額 202,890 決算額 189,763					
実施内容	水戸市医師会等の関係機関と連携することで、診療所業務に従事する医師、歯科医師、薬剤師を確保し、初期救急医療の提供体制を維持した。また、茨城県から診療・検査医療機関の指定を受け、新型コロナウイルス感染症疑い患者の対応に努めた。					
課題	感染拡大を要因とした受診控え等の影響により診療収入が大幅に減少しており、市の財政負担額が増大している。また、感染力が増している変異株の流行がみられることから、従事者及び患者がより安心・安全に施設を利用できるよう、感染防止対策に係る環境整備を図る必要がある。					
R3年度の対応方針	初期救急医療の提供体制を維持するため、早急に上記の環境整備を実施し、本事業を継続する。					

保健総務課

事業概要 医療・福祉分野における人材の育成・確保

担当課

具体的事業	周産期及び婦人科医療従事医師の確保					
R2年度の実績・件数	水戸赤十字病院に対する補助:19,544千円					
R2事業費(千円)	予算額 19,544 決算額 19,544					
実施内容	産婦人科医の確保を図るため、県央・県北地域の周産期医療を担う地域周産期母子医療センターに対する支援を行う。					
課題	県央・県北地域の安定的な周産期医療の提供に向け、継続的な財政支援が必要である。					
R3年度の対応方針	安定的な周産期医療体制の確保に寄与する事業であることから、引き続き地域周産期母子医療センターに対する支援を行う。					

保健総務課

事業概要 医療・福祉分野における人材の育成・確保

担当課

具体的事業	産婦人科医、小児科医等の育成・確保					
R2年度の実績・件数	医学生3人に対して修学資金を貸与するとともに、令和3年度から新たに貸与する者2人を決定					
R2事業費(千円)	予算額 15,300 債務負担45,200 決算額 10,600					
実施内容	医学生に修学資金を貸与し、医師免許取得後、市内で診療行為を行う等の要件を満たした場合には、貸与した修学資金の返還を免除することにより、小児科医、産婦人科医、救急科医を確保する。					
課題	これまで産婦人科医を志望する医学生への貸与実績がないため、本制度の活用促進に向けた効果的な周知を図っていく必要がある。					
R3年度の対応方針	安定的な医療体制の確保に寄与する事業であることから、引き続き医師修学資金貸与事業を行う。					

保健総務課

事業概要 医療・福祉分野における人材の育成・確保		担当課
具体的事業	看護師の育成・確保	保健総務課
R2年度の実績・件数	水戸市医師会看護専門学院運営補助:12,930千円	
R2事業費(千円)	予算額 13,200	
	決算額 12,930	
実施内容	看護師の養成を一層推進していくため、人材を創出する看護職員養成機関の運営等に対する支援を行う。	
課題	ライフスタイルの多様化により、看護師の希望する就業形態もさまざまなパターンが考えられるところであり、医療機関との効果的なマッチングの方法を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	看護師の育成に寄与する事業であることから、引き続き看護職員養成機関の運営等に対する支援を行う。	

事業概要 医療・福祉分野における人材の育成・確保		担当課
具体的事業	介護人材の確保	介護保険課
R2年度の実績・件数	介護職員処遇改善加算の給付 ・地域密着型サービス事業所等における実施率:82.1%	
R2事業費(千円)	予算額 0	
	決算額 0	
実施内容	介護職員処遇改善の加算については、制度にあわせて事業を実施しており、事業所における加算の取得を推進するため、全事業所あてメールで周知するとともに、HPで制度の情報を発信した。	
課題	介護職員処遇改善加算は、介護職員の賃金等の改善に繋がるものであるが、令和2年度に実施した「介護人材の確保に関する事業所実態調査」によると、職員の離職は、賃金等の処遇より職場環境を理由とするものが多かったことから、人材確保(定着)のためには、職場環境の改善を目指した取組を進める必要がある。	
R3年度の対応方針	事業所の管理者を対象とした職場環境の改善のほか、職員のスキルやモチベーション等の向上を目指した取組みを図るため、令和3年度は、介護職員が安心して働くことができる職場環境改善に関するセミナーを開催する予定である。	

【事業名 生涯にわたって、いきいきと健やかに暮らせる環境づくり】		担当課
事業概要 地域包括ケアシステムの構築		担当課
具体的事業	在宅医療・介護連携, 生活支援体制整備等	高齢福祉課
R2年度の実績・件数	【在宅医療・介護連携】在宅医療・介護連携に関する相談対応:273件。医療・介護関係者の研修開催:4回。市や高齢者支援センターが開催する会議等への出席:53回。 【生活支援体制整備】第1層協議体(市内全域)会議開催:2回。第2層協議体(市内の日常生活圏域8か所)会議開催:35回。取組の成果として, 資源開発(活動の立ち上げ, 高齢者サロンの開設等):3件, ネットワーク機能の構築:2件, ニーズと社会資源のマッチング:3件, 生活状況調査:2件。	
R2事業費(千円)	予算額 20,811 決算額 20,251	
実施内容	【在宅医療・介護連携】水戸市医師会に委託している, 水戸市在宅医療・介護連携支援センターが事業を実施。地域の医療・介護の資源の情報収集, 医療・介護関係者, 行政機関及び本人・家族等からの相談対応, 医療・介護関係者への研修を行った。市や高齢者支援センターが開催する会議に出席し, 助言等を行った。 ICTツールを活用した医療と介護の連携システムの試験運用令和2年2月~10月まで実施し, 令和3年1月から正式運用を開始した。 【生活支援体制整備】第1層業務は高齢福祉課が, 第2層業務は水戸市社会福祉協議会に委託して実施。多様な主体との連携を通じ, 生活支援サービスの創出や高齢者の社会参加の推進を図る取組を行った。	
課題	【在宅医療・介護連携】ICTツールの活用促進に向けた取り組みが必要である。 【生活支援体制整備】NPOや民間企業等, 多様な主体の参画が必要である。	
R3年度の対応方針	【在宅医療・介護連携】ICTツールの活用促進に向け, マニュアル整備, 市内事業所への周知等を進める。 【生活支援体制整備】NPOや民間企業等, 多様な主体の参画を推進する。	

地域見守り・支えあいの推進		担当課
具体的事業	水戸市安心・安全見守り隊の運営	高齢福祉課
R2年度の実績・件数	参加団体が182に増加 年間44件の通報が入り, 安否確認などの必要な対応を実施	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	未参加団体に対する参加勧奨を行った。また, 参加団体に対し, 説明会や情報交換会を開催し, 見守り体制の強化を図った。	
課題	実際に見守りをを行っている参加団体からは, 連絡する判断基準が曖昧であることや, 心配な状況を発見した人によって対応に差があること等が課題として挙げられている。	
R3年度の対応方針	地域で支援を必要とする方が安心して生活できるよう, 参加者の拡大を図るため, 関係機関に事業を周知し, 協力を依頼する。参加団体との会議を開催し, 事業の実施状況及び課題の確認を行う。	

事業概要 健康づくり, 生きがいつくりの推進		担当課
具体的事業	(仮称)西部いきいき交流センターの整備(子育て支援機能を備えた施設の整備)	高齢福祉課
R2年度の実績・件数	(仮称)西部いきいき交流センター基本・実施設計業務の実施	
R2事業費(千円)	予算額 24,600 決算額 21,441	
実施内容	(仮称)西部いきいき交流センター建設工事に向け,基本・実施設計業務委託を実施した。 【工事概要】 工事名称 (仮称)西部いきいき交流センター建設工事 建設場所 水戸市河和田3丁目地内(旧河和田保育所跡地) 敷地面積 2,858.84㎡ 規模・構造 鉄筋コンクリート造/2階建 ※耐火建築物 延べ面積:1,779.84㎡(ピロティ駐車場266.00㎡を含む) 工期 令和4年1月～令和5年4月(16ヶ月)	
課題	子育て支援機能を備えた施設として管理運営体制の検討が必要である。	
R3年度の対応方針	令和5年度中の供用開始に向け,建設工事に着手する。	

事業概要 健康づくり, 生きがいつくりの推進		担当課
具体的事業	いきいき交流センター等における多世代交流の推進	高齢福祉課
R2年度の実績・件数	高齢者と子どものふれあい事業への補助 (8地区 591,794円)	
R2事業費(千円)	予算額 1,600 決算額 592	
実施内容	高齢者クラブが実施する高齢者と子どものふれあい事業への補助を実施した。	
課題	コロナ禍による施設の閉館や外出自粛等により,計画通りの事業が出来ていないクラブが殆どであり,コロナ禍における事業の実施方法及び補助についての検討が必要である。	
R3年度の対応方針	多世代交流事業を通じ,高齢者の生きがいつくりや社会参加が促進されるため,事業を継続する。	

事業概要 健康づくり、生きがいづくりの推進		担当課
具体的事業	高齢者の社会参加や生きがいづくり	高齢福祉課
R2年度の実績・件数	いきいき交流センターの運営 【利用者数】 柳堤荘:6,863人, あかね荘:8,647人, 葉山荘:6,894人, 長者山荘:5,372, 常澄:5,086人 ふれしあ:11,427人, あじさい:8,824人, 計:53,113人	
R2事業費(千円)	予算額 197,900 決算額 180,452	
実施内容	高齢者の社会参加や生きがいづくりの拠点であるいきいき交流センターについて、水戸市社会福祉協議会を指定管理者とし運営を実施した。 (市内7施設 柳堤荘, あかね荘, 葉山荘, 長者山荘, 常澄, ふれしあ, あじさい)	
課題	コロナ禍による施設の閉館のため、利用者数が大幅に減少した。 【閉館】 R2.3.3～6.7, 8.2～9.13, R3.1.18～2.7 【利用者数】 R1:159,717人→R2:53,113人	
R3年度の対応方針	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、施設運営を実施する。	

事業概要 生活衛生対策の推進		担当課
具体的事業	食の安全・安心の確保	保健衛生課
R2年度の実績・件数	令和2年度水戸市食品衛生監視指導計画に基づき、食品等事業者の監視指導を実施 法令許可施設数：5,535件 監視指導件数：1,593件 条例許可施設数：413件 監視指導件数：210件	
R2事業費(千円)	予算額 7,153 決算額 6,618	
実施内容	食品衛生法及び茨城県食品衛生条例に基づき、営業施設の規模、製造・加工・調理・販売等取扱食品の種類・特性・流通範囲等を考慮の上、食品等事業者への立入検査を実施し、食品衛生の向上を図った。	
課題	食品衛生法改正による、業種の変更やHACCP義務化に伴い、より実態に合った立入検査及び指導を実施する必要がある。	
R3年度の対応方針	令和3年度水戸市食品衛生監視指導計画に基づき、食品等事業者の監視指導を実施する。	

事業概要 生活衛生対策の推進		担当課
具体的事業	生活衛生環境の確保	保健衛生課
R2年度の実績・件数	生活衛生関係の営業許可等に係る事務及び衛生指導を実施 理容所, 美容所等届出件数：651件 立入検査件数：38件 旅館, 公衆浴場等申請等件数：39件 立入検査件数：24件	
R2事業費(千円)	予算額 697 決算額 221	
実施内容	衛生的な生活環境を確保するため、生活衛生関係営業法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、その他関係法令に基づき営業許可施設等に対し立入検査を実施し、公衆衛生の向上及び増進に努めた。	
課題	理容所, 美容所をはじめとした立入検査対象施設数は、約1,600施設となっている。 これらの数多くの施設の衛生的な環境を確保するため、施設ごとの指導頻度を定め、計画的に立入検査を行っていく必要がある。	
R3年度の対応方針	業種内容に応じた指導頻度を定め、計画的に立入検査を実施する。	

事業概要 環境保全に関する意識の啓発		担当課
具体的事業	環境学習・教育の充実	環境保全課
R2年度の実績・件数	千波湖学習会 6回実施 環境フェア2020については新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止	
R2事業費(千円)	予算額 7,780 決算額 280	
実施内容	千波湖親水デッキ及びその周辺において、野鳥・昆虫・植物・水生生物について詳しい各分野の講師による市民参加型の環境学習会を開催した。	
課題	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、例年千波湖畔で行っていた環境フェアが中止となった。令和2年度の例に限らず屋外イベントであるため、荒天時の中止等の際に、代替案の検討が必要である。	
R3年度の対応方針	自然環境保全の大切さや千波湖及びその周辺の水質浄化対策の現状に対する市民意識を深めるため、引き続き千波湖学習会を実施する。	
【事業名 都市機能の集約・再配置の推進】		
事業概要 都市機能, 居住の誘導によるコンパクトなまちづくり		担当課
具体的事業	立地適正化計画に基づく施策の推進	都市計画課
R2年度の実績・件数	届出件数 住宅等:21件, 誘導施設:4件	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	立地適正化計画の誘導区域に係る届出制度の説明を行った。	
課題	国の支援制度(都市構造再編集中支援事業)の活用が難しい。 誘導区域内へ立地した場合のメリットが事業者にとって低いとため、他市事例等の調査研究を行い、制度創設の検討が必要である。	
R3年度の対応方針	誘導区域への誘導に向けた他市事例の調査・研究を行う。	

【事業名 交通ネットワークの形成】		担当課
事業概要 公共交通体系の構築に向けた取組の推進		担当課
具体的事業	地域公共交通の再編	交通政策課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> バス路線2系統(浜田営業所～柳町中央～水戸駅南口系統の市役所新庁舎経由化並びに払沢・本郷循環線昼間時間帯の水戸駅南口発着化及び市役所新庁舎経由化)の再編を実施 城里町と路線バス「石塚・赤塚線」の運行を支援 12月に「ノーマイカーウィーク」を実施 既存の導入済地区(国田, 大場及び妻里)に加え, 新たに山根及び鯉淵地区において, 1,000円タクシーを運行 その他水戸市公共交通基本計画に基づく施策を実施 	
R2事業費(千円)	予算額 37,760 決算額 32,336	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 水戸市公共交通再編実施計画に基づき, 令和2年4月1日から2系統のバス路線の再編を実施した。 定住自立圏の枠組みを活用し, 城里町と路線バス「石塚・赤塚線」の運行を支援した。 構成9市町村と連携し, 12月に「ノーマイカーウィーク」を実施した。 国のタクシー需要閑散時間帯割引の実証実験を活用して, 国やタクシー事業者と連携し, 国田地区, 大場地区, 妻里地区, 山根地区及び鯉淵地区において, 1,000円タクシーを導入した。 その他, 「水戸漫遊1日フリーきっぷ」の割引支援等, 水戸市公共交通基本計画に基づく施策を実施した。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 「けやき台・水戸駅南口線」について, 運行支援が令和3年度で終了することから, 今後の運行の在り方について事業者と検討・協議する必要がある。 「石塚・赤塚線」について, 運行支援が令和3年度で終了することから, 今後の運行の在り方について事業者と検討・協議する必要がある。 1,000円タクシーについて, 収支比率がいずれの地区も目標達成に至っていないことから, 引き続き利用促進を図るとともに, 地区の統合についても検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症の流行により, バス事業者との再編に関する協議が滞ったほか, 実施を予定していた施策も一部実施を見送った。(6月のノーマイカーウィーク, 乗り方教室等) 	
R3年度の対応方針	第1次再編の効果検証を実施し, 更なる再編に向けた課題等を整理することで, 第2次再編の方針を設定する。 引き続き, 水戸市公共交通基本計画に位置付けた施策を実施し, 利用促進や利便性の向上に取り組む。	

事業概要 快適な自転車通行空間の整備		担当課
具体的事業	自転車利用環境整備計画に基づく施策の推進	交通政策課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> 幹線市道21号線自転車通行空間整備(2工区)工事 幹線市道12号線自転車通行空間整備工事 幹線市道12号線自転車通行空間整備設計委託 幹線市道12号線自転車通行空間整備(1工区)工事 県庁バスターミナル駐輪場整備工事 幹線市道12号線自転車通行空間整備(2工区)工事 	
R2事業費(千円)	予算額 27,636 決算額 20,831	
実施内容	以下の施策を実施し, 自転車利用環境整備計画に基づく快適な自転車通行空間の整備に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> 幹線市道21号線自転車通行空間整備工事 幹線市道12号線自転車通行空間設計委託 幹線市道12号線自転車通行空間整備工事(一部区間) 県庁バスターミナル駐輪場整備工事 通行指導を毎月2回ずつ実施(4月に複数回実施) 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内の国・県道において自転車通行空間整備が進んでいない。 整備路線の増加に伴い, 通行指導の担い手の確保が必要となっている。 	
R3年度の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 優先整備路線に位置付けた路線について, 順次整備を図っていく。 整備が完了した路線については, 関係者の協力を得ながら通行指導を行っていく。 	

事業概要 内原駅周辺地区の拠点機能の充実		担当課
具体的事業	内原駅南口周辺地区整備	市街地整備課
R2年度の実績・件数	東日本旅客鉄道㈱と南北自由通路及び橋上駅舎整備工事に関する施行協定に基づき、令和2年度に年度協定を締結	
R2事業費(千円)	予算額 807,400 決算額 9,330	
実施内容	南北自由通路及び橋上駅舎整備工事に伴い既存駐輪場が閉鎖となり、代替え施設として仮設駐輪場を整備した。また、内原駅南口広場への進入道路として道路整備を行っている。	
課題	東日本旅客鉄道㈱が施工する南北自由通路及び橋上駅舎整備工事の工程調整を行い、南口広場、北側自由通路及び駐輪場の早期整備に向けて関係機関との協議・調整を行っていく必要がある。	
R3年度の対応方針	引き続き東日本旅客鉄道㈱との工程調整等を行い、早期供用開始に向けて庁内調整及び関係機関と協議を行う。	

【事業名 居心地が良く歩きたくなるまちづくり】

事業概要 歩いて楽しめる道路空間整備

担当課

具体的事業	居心地が良く歩きたくなるまちづくり	都市計画課
R2年度の実績・件数	中心市街地において、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成に向け、民間組織が主体で取り組む国の支援制度「官民連携まちなか再生推進事業」を活用した、エリアプラットフォームの構築及び未来ビジョンの素案の作成	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	・エリアプラットフォームの構築及び未来ビジョンの素案の作成を行った。	
課題	未来ビジョンの策定及びビジョン実現のための自立・自走型組織体制やビジネスモデル等の構築が必要である。	
R3年度の対応方針	昨年度に取りまとめられた未来ビジョンの素案内容について、試行・実証実験を行い、その効果を検証し、未来ビジョンを策定する。	

事業概要 歩いて楽しめる道路空間整備

担当課

具体的事業	道路空間整備(上市254・259号線等)	市街地整備課
R2年度の実績・件数	用地・補償:4件 委託:6件(市道上市254・259号線電線共同溝詳細設計委託等) 工事:4件(市道上市259号線道路改良・電線共同溝工事等)	
R2事業費(千円)	予算額 358,100 決算額 199,329	
実施内容	上市254・259号線において、用地買収や電線共同溝の設計等を行い、一部区間において道路改良・電線共同溝工事を進めた。	
課題	引き続き用地買収等を進め、残る区間における整備工事の進捗を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	令和4年の供用開始に向け、関係機関との連携を図りながら整備を進めていく。	

事業概要 多様な交流の創出によるにぎわいづくり

担当課

具体的事業	水戸まちなかフェスティバルの開催
R2年度の実績・件数	第9回水戸まちなかフェスティバル：新型コロナウイルス感染症の影響により中止
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0
実施内容	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、例年、本市の中心市街地のメインストリート(国道50号)を歩行者天国として、商店街団体など市民との協働による各種イベントを開催し、中心市街地の魅力創造やにぎわいの創出を通し、商業・観光の振興を図る。
課題	今後、さらなる市民参加の促進を図るとともに、自主財源の確保に努めるほか、民間主導のイベント開催を一つの選択肢として検討する。
R3年度の対応方針	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、実施に向けた準備を進める。

商工課

事業概要 多様な交流の創出によるにぎわいづくり

担当課

具体的事業	まちなか芝生広場プロジェクト
R2年度の実績・件数	イベント件数…5件(市主体…0件, 市民主体…5件) 利用者数…1,930人
R2事業費(千円)	予算額 4,936 決算額 4,908
実施内容	中心市街地における官民連携により開設した「まちなか・スポーツ・にぎわい広場(通称:M-SPO)」における南町自由広場の敷地の芝生化や車路整備を行い、様々な活動・イベント等を実施するとともに、市民主体の活動・イベント等での利用促進を図る。
課題	市民主体のイベント等の開催を促すため、民間事業者と連携してデジタルサイネージによる広場等の周知を図る必要がある。
R3年度の対応方針	中心市街地の活性化及び賑わいの創出に寄与していることから、本事業を継続する。

商工課

事業概要 多様な交流の創出によるにぎわいづくり

担当課

具体的事業	商店街活力アップ事業
R2年度の実績・件数	○交付団体数:9団体
R2事業費(千円)	予算額 18,800 決算額 11,798
実施内容	商店街の活力やにぎわいを創出するための事業、商店街の広報宣伝を行う事業、空き店舗・空き地対策事業などに対し、補助金による支援を行う。 [対象] 商店街団体, 商店街によって組織される連合団体 [補助率] 補助率 1/2以内・上限 2,500千円(※連合団体は補助率 1/2以内・上限 5,500千円)
課題	賑わいの創出及び商店街活性化に寄与することができたものと評価する。しかしながら、事業内容の恒常化が見られることから、より効果的な事業の実施を促進するほか、補助金のあり方についても検討していく必要がある。
R3年度の対応方針	商店街の賑わい創出に寄与する事業であることから、本事業を継続する。

商工課

事業概要 泉町1丁目北地区市街地再開発事業等の推進		担当課
具体的事業	泉町1丁目北地区市街地再開発事業	泉町周辺地区開発事務所
R2年度の実績・件数	○建築工事 ○道路改良工事	
R2事業費(千円)	予算額 888,500 決算額 70,214	
実施内容	○建築工事 ○道路改良工事	
課題	各種工事が同時期に施工されているため、工事が円滑に進むよう関係者間の調整を図り、事業が計画通りに進捗するように対応する必要がある。	
R3年度の対応方針	引き続き、建築工事及び道路改良工事の進捗を図り、計画通りの事業完成を目指す。	

事業概要 泉町1丁目北地区市街地再開発事業等の推進		担当課
具体的事業	泉町周辺地区整備事業	泉町周辺地区開発事務所
R2年度の実績・件数	○道路改良工事	
R2事業費(千円)	予算額 487,800 決算額 142,318	
実施内容	○幹線市道4号線 道路改良工事 ○都市計画道路7・5・9芸術館西通り線 道路改築工事 ○市道上市196号線 用地補償 ○泉町地下駐車場連絡通路 躯体工事	
課題	市道上市196号線道路改良・電線共同溝工事に伴う用地買収については、道路計画内の1名の地権者と未契約である。また、幹線市道4号線の進捗については、当初想定されていなかった地下埋設物の移設工事により工期が遅れが生じている。	
R3年度の対応方針	用地取得に関し、残る地権者に対して継続して用地交渉を行い、R3年度上半期の契約締結を目指す。また、幹線市道4号線(1工区)については、R3年度上半期の完成を目指す。	

【事業名 広域連携による都市力の向上】

事業概要 茨城県央地域定住自立圏に係る取組の推進		担当課
具体的事業	定住自立圏構想に基づく取組の推進	政策企画課
R2年度の実績・件数	県央地域首長懇話会における協議(7月, 11月) ビジョン懇談会における書面協議(6月) 茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンに基づく事業の推進	
R2事業費(千円)	予算額 370 決算額 0	
実施内容	水戸市と近隣8市町村において、定住自立圏を形成し、定住自立圏共生ビジョンに位置付けた取組を推進する。県央地域首長懇話会やビジョン懇談会に取組を報告する。	
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント型の取組や会議が中止になっている。	
R3年度の対応方針	茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンに基づく事業を推進し、状況に応じて内容の見直しを図るなど、適切な進行管理を行いながら、取組の充実を図っていく。	

事業概要 北関東中核都市連携会議に係る取組の推進		担当課
具体的事業	北関東中核都市連携会議に係る取組の推進	政策企画課
R2年度の実績・件数	4市連携物産フェア(中止) 月2回程度インスタグラムの更新 ロケ地カード配布	
R2事業費(千円)	予算額 5,700 決算額 246	
実施内容	インバウンド観光の推進のため、月2回程度インスタグラムの更新を行ったほか、映画等を活用したPRの推進のため、ロケ地カードの配布を行った。	
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、物産フェアが令和4年度まで中止になり、インバウンド観光も困難になった。	
R3年度の対応方針	宇都宮市担当のきたかんオープンイノベーション事業について4市で調整し、進めるほか、ロケ地カード配布を行う。	

具体的施策(2) 安全で安心して暮らせる環境づくり

【事業名 安全な住環境づくり】

事業概要 空家等対策の強化

担当課

具体的事業	空家等対策計画に基づく施策の推進	生活安全課
R2年度の実績・件数	・空家等の適正管理に関する指導等の実施 ・空家等管理台帳の整理 ・専門家による空き家・空き地無料相談会 ・R3固定資産税納税通知書への空き家リーフレット同封(約104,000通)	
R2事業費(千円)	予算額 3,800 決算額 2,311	
実施内容	管理不全な空家等の所有者等に対して、適正管理を求める行政指導を継続的に実施した。解決方法がわからない、または遠方にお住まいの所有者等に対しては、解決するための手続きや方法などを丁寧に説明していくことで、多くの空家等において解体や修繕がみられた。	
課題	近年は、相続未登記のものや、所有者が当該空家等に住所を置いたまま行方がわからなくなっているものも多くみられ、指導する相手(法定相続人)を見つけるための戸籍調査等に多くの時間を要している。そのほか、相続人全員が相続放棄をしているケースも出てきており、対応に苦慮している。	
R3年度の対応方針	整理したデータを活用し、空家等対策計画で掲げる3つの基本方針(空家等の発生の抑制、空家等の流通・利活用、空家等の適正管理)に係る各種施策を展開していく。	

事業概要 浸水被害対策の推進

担当課

具体的事業	水戸市雨水排水施設整備プログラムに基づく施策の推進	建設計画課
R2年度の実績・件数	浸水被害として把握する箇所被害軽減・解消対策の実施 対策実施箇所の数:15件(※対策の効果検証中)	
R2事業費(千円)	予算額 414,326 決算額 414,326(※対策の効果検証中)	
実施内容	浸水被害把握箇所に対する整備を行った。 (都市下水路、排水路、公共下水道、側溝、集水桝等の整備)	
課題	被害箇所の集中的な整備を進めているものの、解消までには膨大な費用と複数年かかる継続的な事業が多く、かつ近年頻発する局地的な集中豪雨により新規の浸水被害箇所が多く発生したことから、市内に点在する浸水被害把握箇所の多くに雨水対策の整備が進んでいない現状である。	
R3年度の対応方針	引き続き、より効率的かつ効果的な対策手法を検討し実施していく。また、浸水被害の早期軽減・解消のため、更なる財源確保に努めていく。	

事業概要 民間住宅等の耐震化の促進		担当課
具体的事業	木造住宅の耐震診断, 耐震改修への助成事業, 違反建築物の未然防止, 是正	建築指導課
R2年度の実績・件数	木造住宅耐震診断士派遣業務委託・・・6件(462,000円) 木造住宅耐震改修(設計)補助事業・・・0件 民間建築物耐震診断補助事業(特定建築物)・・・0件 危険ブロック塀等撤去補助事業・・・18件(1,627,000円) 違反建築(未然防止)パトロール業務委託・・・3回実施(371,800円) 落下物対策実態調査・・・1回(2日間)実施(建築指導課職員による調査)	
R2事業費(千円)	予算額 15,270 決算額 2,460	
実施内容	・各種補助制度を運用し, 補助件数向上に向けた周知・啓蒙活動(広報・モニター掲載, チラシ作成, 戸別訪問等)を実施した。 ・R2年度から新たに違反建築(未然防止)パトロール業務委託を実施し, 効果を精査中でR3年度に向け更なる効果を図っていく。 ・落下物対策実態調査結果に基づき, 建築物所有者への注意喚起を実施している。	
課題	・予算に対し各種補助実績件数が少ない(近年の実績は上昇傾向にある)ので, 今後も周知・啓蒙に取り組んでいく。	
R3年度の対応方針	住民が安心して暮らせるまちづくりに寄与する事業なので, より良い手法・制度を検討しながら事業を推進していく。	
【事業名 防災対策・体制の強化】		
事業概要 市民との協働による地域防災の推進		担当課
具体的事業	防災訓練の充実, 応急給水体制の充実	水道総務課
R2年度の実績・件数	MCA無線通信訓練の実施(1回)	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	令和2年度は, コロナウイルス感染症拡大防止のため, 対面で行う応急給水訓練が実施できなかった。そのため, 応急給水活動の協力団体である水戸市管工事業協同組合との間で, 非対面のMCA無線訓練を実施した。	
課題	各地区の防災訓練はコロナウイルス感染症拡大防止の理由により実施されていないが, コロナ禍での災害を想定した訓練の実施や応急給水体制の周知が必要となる。	
R3年度の対応方針	各地区の防災訓練が行われる際には, コロナ禍での災害を想定した訓練内容とする。また, 訓練が実施できない場合に備え, 非対面の訓練の実施方法についても検討する。	

事業概要 市民との協働による地域防災の推進		担当課
具体的事業	防災訓練の充実, 応急給水体制の充実	防災・危機管理課
R2年度の実績・件数	地域等と連携した防災訓練・講座の実施 36回 2,789人	
R2事業費(千円)	予算額 3,300 決算額 2,423	
実施内容	地域の実情に応じた防災訓練・講座, さらには, いっせい防災訓練等を実施し, 防災啓発, 意識の高揚に努めている。 自主防災組織等との連携を強化し, 情報伝達, 避難所運営体制, 災害時生活用水協力井戸の運用など充実を図るとともに, 町内会等の身近なコミュニティにおける防災活動を促進する。	
課題	コロナ禍において多人数を集めた防災訓練の実施が難しい状況にある。	
R3年度の対応方針	地域等と連携した防災訓練・講座を継続する(ウェブなども活用するなど, 工夫した訓練・研修等の実施)。 水戸市いっせい防災訓練をはじめ各種取組により, 継続した防災啓発, 意識の高揚につなげる。	

事業概要 次世代防災リーダーの育成		担当課
具体的事業	学校, 市民センターにおける防災教育等の推進	防災・危機管理課
R2年度の実績・件数	次世代の地域を担う子どもたちに学校と連携した防災訓練等実施 9回 いっせい防災訓練に全小・中学校が参加	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	災害が発生したときの対処法や備蓄資機材等の取扱いなど, 児童・生徒の発達段階に応じた防災教育や地域の実情に応じた様々な災害を想定した防災教育を行うことにより, 次世代防災リーダーを育成する。	
課題	次世代防災リーダー育成を展開するに当たり, 保護者や地域との連携を図ることが重要であることから, 市教育委員会や地区会と継続して連携体制の充実・強化に努める。	
R3年度の対応方針	市立小・中学校全学年において, 防災教育を行い, 次世代防災リーダーの育成を継続する。	

事業概要 災害時要配慮者支援の充実		担当課
具体的事業	災害時要配慮者への支援の充実	福祉総務課
R2年度の実績・件数	避難行動要支援者名簿への登録者数 3,862名 (R3.4.1現在)	
R2事業費(千円)	予算額 3,935 決算額 3,664	
実施内容	○支援システムを活用した避難行動要支援者名簿を作成した。 ○水戸警察署及び各市民センターへの名簿を配布した。 ○各地域の民生委員へ名簿を配布し、個別訪問調査を依頼した。 ○新たな要件へ該当する方に対する支援希望を確認した。	
課題	地震や水害などの災害発生時に、避難行動要支援者等をより円滑に避難誘導するために、より実態に即した個別計画の作成や、避難支援等関係者とのさらなる連携・情報共有等が必要である。	
R3年度の対応方針	○地域の実情に応じた支援体制の確立・強化に向け、避難支援等関係者の代表で構成する連絡会を開催する。 ○民生委員の訪問調査結果など、最新の情報を支援システムに反映し、実態に即した個別計画の更新に努める。	

事業概要 あらゆる手段を活用した防災情報の伝達		担当課
具体的事業	あらゆる手段を活用した防災情報の伝達	防災・危機管理課
R2年度の実績・件数	防災ラジオの無償貸与を継続、有償貸与を開始 R2年度 貸与数 861台 ハザードマップの改定を実施し、浸水想定区域内に全戸配布 17,882件	
R2事業費(千円)	予算額 45,656 決算額 23,250	
実施内容	防災ラジオについて、無償貸与の対象となる世帯だけでなく、希望する全ての市民、さらには事業所も入手できるよう、有償による貸与を開始した。また普及啓発のため市内全域に防災ラジオに関するチラシを配布した。 令和元年台風19号の影響等を踏まえ、ハザードマップを改訂し、浸水想定区域内に全戸配布した。	
課題	災害情報は命に係わるものであるため、市民27万人全員が情報を入手できるように、伝達手段について周知徹底を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	防災ラジオのさらなる普及を図るため、市民への周知に努める。 県管理河川の浸水想定区域の改定や避難情報の発令方法の変更を踏まえ、ハザードマップの修正等を行い、市民への周知に努める。 関係機関との迅速な情報伝達のため、MCA無線機をより繋がりやすい新たな製品に更新する。	

【事業名 消費生活の向上】		担当課
事業概要 消費者教育及び啓発活動の充実		担当課
具体的事業	ライフステージに応じた消費者教育, 意識啓発, 人材育成等	市民生活課
R2年度の実績・件数	○消費者月間市民のつどい開催(講演会に代えてパネル展の開催) ・令和2年5月25日～29日 ○出前講座の開催(22回) ○消費者団体移動教室の開催(1回) ※ 他の団体は, コロナで中止 ○イベント等における啓発事業の推進 ○水戸消費者市民大学院(1回※)の開催 ※ 前年度にコロナで延期になっていた分	
R2事業費(千円)	予算額 2,640 決算額 300	
実施内容	○学校教育, 地域社会, 高齢者, 障害者, 家庭, 職域など, 生活の幅広い領域を幼児期から高齢期までのライフステージに応じた消費者教育及び被害防止対策を体系的に実施した。	
課題	○年度計画のとおり事業を実施できたものと評価する。今後も幅広い世代を対象に, あらゆる分野における消費者教育を実施し, 自立した消費者としての意識付けを図る必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症感染予防のため, イベント, 出前講座, 移動教室が中止を余儀なくされている状況にある。	
R3年度の対応方針	○消費者を取り巻く環境が大きく変化する中, 多様化・複雑化する消費者問題に対応していくため, 引き続き事業を継続する。 ○新型コロナウイルス感染症感染対策を十分に講じながら, 出来る限りイベント等を実施する。	
事業概要 消費者被害防止対策の充実		担当課
具体的事業	消費者被害防止対策の強化	市民生活課
R2年度の実績・件数	○中学3年生を対象に成人年齢引き下げに係るチラシを配布し, 意識啓発を実施 ○消費者教育講演会の開催 SDGsをテーマに収録した映像を水戸市ホームページで公開	
R2事業費(千円)	予算額 242 決算額 242	
実施内容	○消費者市民社会の実現に向けた消費者の自立を支援するため, 消費者教育の推進を図る。 ※対象:各幼小中学校の家庭科・社会科の教員や管理職 消費者団体など地域において支援活動をされている方やその他一般公募	
課題	○今後とも, 社会情勢の変化に伴い, 複雑化する消費生活に対応するため, 幅広い視点から消費者教育を捉え, 教育部門とも連携を図りながら内容の充実を図る必要がある。	
R3年度の対応方針	○学校教育の早期の段階から消費者としての意識付けを行うために, 引き続き事業を継続する。特に, 来年度から成人年齢が引き下げになることから, 意識啓発が必要である。	

事業概要 消費者被害防止対策の充実		担当課
具体的事業	消費生活相談体制の充実	市民生活課
R2年度の実績・件数	○消費生活相談員による相談窓口(2,074件) ○専門相談員による相談窓口(89件) ○相談員レベルアップ研修の実施(国民生活センター派遣及びオンラインによる研修)(5人)	
R2事業費(千円)	予算額 8,601 決算額 8,480	
実施内容	○消費生活における多様な関係機関等との連携強化を図り、相談員を中心とした実践的できめ細かい消費生活相談体制を充実させ、相談しやすい環境づくりを進める。	
課題	○今後、市民の消費形態の変化に伴い、相談対応に必要な情報・知識の習得や人材育成を行うため、研修、協働事業を通し、様々な関係団体との連携による取組を推進していく必要がある。	
R3年度の対応方針	○相談体制の強化に向け、様々な関係団体との連携による研修、協働事業に取り組み、情報・知識の習得や人材育成を継続的に推進する。	

具体的施策(3) 活躍できる環境づくり

【事業名 地域コミュニティ活動の活性化】

事業概要 住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動の推進

担当課

具体的事業	地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援	市民生活課
R2年度の実績・件数	○地域コミュニティプラン推進研修会の実施(中止) ○平成31年度の内原区長制廃止及び3地区分割に伴い、妻里地区及び内原地区においてコミュニティプランの策定	
R2事業費(千円)	予算額 300 決算額 300	
実施内容	水戸市コミュニティ推進計画(第3次)に基づき、それぞれの地域が主体となった地域コミュニティ活動の推進に向けた指針として、地域の将来像や課題、その解決に向けた具体的な活動などをまとめた地域コミュニティプランの実現に向け、地域の実情に合わせ、必要な知識や技術を学び、実践することができる人材を養成する。 ※対象:地区会の役員、専門部員、町内会・自治会長等	
課題	○鯉淵地区においてコミュニティプランの策定が完了していないことから、プランの策定が必要である。 ○新型コロナウイルス感染症感染予防のため、イベント、出前講座、移動教室が中止を余儀なくされている状況にある。	
R3年度の対応方針	○鯉淵地区において、地域コミュニティプランが策定されるよう支援する。 ○感染拡大防止に配慮しながら工夫して、研修会を開催する。	

事業概要 地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化		担当課
具体的事業	町内会加入に向けた取組の強化、地域リーダー研修会等	
R2年度の実績・件数	○行政の窓口・広報みと等における周知、市民課窓口で声掛けの実施 ○未加入世帯への広報紙配布 ○町内会・自治会加入促進委員会(住み協)及び町内会・自治会加入促進検討会議(市)の開催 ○住みよいまちづくり推進協議会内に町内会・自治会加入促進委員会を設置し、検討の実施 ○茨城県宅地建物取引業協会、住みよいまちづくり推進協議会及び水戸市で、町内会・自治会の加入促進に関する協定を締結 ○第一生命保険株式会社との社会連携事業として、町内会・自治会加入に関するアンケートを実施 ○SNSを活用した情報発信 ○QRコードを活用した申込の開始 ○茨城大学生からの政策提案発表会の開催	
R2事業費(千円)	予算額 1,379 決算額 467	
実施内容	○市民と行政との協働のもと、地域的な連帯感に基づくコミュニティ活動によって課題を解決していくため、水戸市住みよいまちづくり推進協議会等の関係機関・団体と連携し、町内会・自治会加入の呼びかけや地域コミュニティ活動の紹介など、各種啓発活動を重点的に実施し、地域コミュニティ活動組織の強化を図る。	
課題	○加入率は依然として減少傾向にあることから、水戸市住みよいまちづくり推進協議会を始め、関係機関・団体と連携し、幅広い世代に対し、町内会・自治会加入の呼びかけや地域コミュニティ活動の紹介などの各種啓発活動や加入促進に向けた取組について検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	○持続可能な地域コミュニティ活動を推進するため、各地域の実情に合わせ、町内会・自治会への加入を促す取り組みを継続していくとともに、水戸市住みよいまちづくり推進協議会と連携しながら、加入促進に向けた新たな施策や取組(町内会・自治会優待カード事業、臨時職員訪問事業)について検討していく。	

市民生活課

【事業名 ボランティア団体、NPO等の活動の活性化】

事業概要 ボランティア団体、NPO等との協働事業の推進		担当課
具体的事業	協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」事業	
R2年度の実績・件数	○令和2年度第1回水戸市協働推進委員会の開催 令和元年度事業報告会(報告数:6事業 新型コロナウイルス感染予防のため、録画開催とした。) ○令和3年度協働事業の提案募集(応募数:7事業) ○令和2年度第2回水戸市協働推進委員会(諮問) 令和3年度提案事業公開プレゼンテーション(提案数:7事業) ○市長への答申(採択数:6事業) 令和3年度協働事業実施に係る提案の審査について	
R2事業費(千円)	予算額 3,720 決算額 1,734	
実施内容	○水戸市協働推進基本計画(第2次)に基づく各種施策を実施するとともに、様々な分野においてNPO・ボランティア団体等と連携・協力しながら、市民との協働によるまちづくりを推進するため、各団体と市担当課による協働事業の報告並びに提案及びその審査等を実施した。	
課題	○協働事業の提案募集に応募する団体は一桁を推移している。また、活動団体の中には自己資金の負担が大きいため、協働事業補助金の額や補助対象経費など現行制度の見直しを検討するよう要望する意見があることから、他自治体や関係団体等と連携を図りながら、活動団体への支援のあり方について検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	○令和2年度事業報告会及び令和4年度提案募集を実施するとともに、市民との協働を意識した協力体制を構築するため、今後も活動団体と市担当課とのマッチング作業を積極的に行う。	

市民生活課

事業概要 ボランティア団体、NPO等の情報の共有、人材育成		担当課
具体的事業	市民活動情報WEBサイト「こみっと広場」運営事業、こみっとフェスティバル事業	市民生活課
R2年度の実績・件数	○WEBサイト登録団体数(累計100団体) ○こみっとフェスティバル2021の開催(新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン開催) (参加団体:19団体, 参加者数:65名)	
R2事業費(千円)	予算額 1,619 決算額 975	
実施内容	○市民、NPO及びボランティア団体等の市民活動団体の情報発信や相互交流等により、市民活動の広がりや活性化を図ることを目的として開設した、市民活動情報WEBサイト「こみっと広場」を活用し、市民活動情報の発信などに努めた。 ○協働のまちづくりに対する市民意識を醸成するとともに、市民活動団体間のネットワークの構築を図るほか、市民活動団体への参加を促すことを目的として、「こみっとフェスティバル2021」を開催し、市内におけるNPO、ボランティア団体その他市民活動団体が自らの活動情報の発信や相談対応を実施した。	
課題	○登録団体となる新規登録者数を増加させるための工夫として、定期的なWEBサイト情報の更新をはじめ、機会を捉えて、市民活動団体等への声掛けや周知活動等を継続して働きかける必要がある。 ○若年層の中高生に積極的な参加を促し、市民活動団体を知るきっかけとなるよう働きかける必要がある。	
R3年度の対応方針	○年度内における新規登録者数目標達成に向けて定期的な情報更新及び団体への声掛けを継続的に行う。 ○今回10回目の節目となる「こみっとフェスティバル」が例年以上の盛大なイベントとなるよう、初の2日間開催とし、こみっとフェスティバル実行委員会を中心に参集型とオンラインを融合させたプログラムを検討している。	

事業概要 福祉ボランティアの育成・活動支援		担当課
具体的事業	福祉ボランティアの育成・活動支援	福祉総務課
R2年度の実績・件数	ボランティア相談の実施、ボランティアセンターだよりの発行、ボランティア活動関連ホームページ更新、ボランティアサークル等研修会の開催 ボランティア相談:1,037件, 登録者数(個人):134名, 登録者数(団体):104団体	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	福祉ボランティア会館を運営する指定管理者の水戸市社会福祉協議会と連携しながら、ボランティアに関するニーズ把握・相談・広報啓発・情報提供やボランティア各種講座等の開催などを行い、ボランティアの振興を図った。	
課題	水戸市地域福祉計画(第3次)の策定に伴う市民意識調査において、ボランティア活動に今後は参加したいという潜在的な参加意向層が3割いることから、それらの層をボランティア活動に取り込む支援をしていく。	
R3年度の対応方針	地域福祉の推進に向け、市民の積極的なボランティア活動を推進するため、人材育成やボランティア活動の啓発、各種関係講座の開催など、福祉ボランティア会館において総合的な支援を行う。 会館においてボランティアに関する相談や紹介機能を担い、より多くの市民が広く安心して活動が続けられるよう支援をする。	

【事業名 生涯学習活動の活性化】		担当課
事業概要 生涯学習のしやすい環境づくり		生涯学習課
具体的事業	学習機会の充実等	生涯学習課
R2年度の実績・件数	好文塾の開催(1講座3回) ホームページ, 情報誌等を活用した生涯学習情報の提供 電話等による学習相談の実施(29件)	
R2事業費(千円)	予算額 584 決算額 248	
実施内容	みと好文カレッジと市民センターとの共催で、環境の保全等をテーマに好文塾を開催(延べ40人参加)した。 人付き合いの心構えを学ぶ「茨城しぐさ」及び水戸女子高等学校との共催で実施予定であった「シニアパソコン教室」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。	
課題	コロナ禍における各種講座の開催方法を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	密を避けたプログラムの実施やICTを活用した講座開催を検討する。	
事業概要 生涯学習サポーター等の活動促進		担当課
具体的事業	生涯学習サポーター等の活動促進	生涯学習課
R2年度の実績・件数	「あなたも師・達人制度」の講師派遣(3件) 生涯学習サポーター新規登録者数 13人 (登録者数 56人)	
R2事業費(千円)	予算額 663 決算額 0	
実施内容	優れた技術と才能を持った方を講師, 指導者として登録(291人)し, 派遣を行った。 生涯学習サポーターによる市民と行政との協働企画講座を計画したが, 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため, 中止とした。	
課題	コロナ禍における生涯学習サポーターの養成, 生涯学習サポーターの活動の場の拡大が課題である。	
R3年度の対応方針	引き続き養成講座を開催し, 生涯学習サポーターの確保に努める。 生涯学習サポーターと市民センターの協働企画講座を開催する等, 市民センターにおける生涯学習サポーターの活用を促進し, 活動の場を広げる。	

【事業名 多様な人材の活躍推進】		担当課
事業概要 女性の活躍推進		
具体的事業	【I-(2)再掲】女性活躍推進事業	
R2年度の実績・件数	<p>○就業支援講座の開催(復職支援1回)</p> <p>①子育てママ「子育てママのマネープラン」 令和2年11月27日(金) 参加者6人</p> <p>○市内大学連携による学生対象キャリアセミナーの開催(2回)</p> <p>①常磐大学「仕事と家庭の両立プログラム」 令和3年1月25日(月) 参加者:24人</p> <p>②茨城大学「わたしのキャリアとワーク・ライフ・バランス」 令和3年2月1日(木) 参加者:85人</p> <p>○女性起業家によるセミナー及び相談交流会の開催(2回)</p> <p>①女性のための私にもできる起業!本気編 令和2年11月16日(土) 参加者9人</p> <p>②女性のためのSNS活用集客セミナー 令和2年11月30日(土) 参加者10人</p> <p>○政策提言発表会の開催(2回)</p> <p>①「若者によるエビデンスに基づく政策提言発表会」 参加者:43人</p> <p>②「若者によるエビデンスに基づく政策提言発表会」(オンライン) 参加者:11人</p> <p>○キャリアアップ講座,人材不足解消セミナーについては,新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	
R2事業費(千円)	<p>予算額 1400</p> <p>決算額 367</p>	
実施内容	女性の活躍推進に向けて,女性が活躍できる機会をさらに拡充させるため,市内の各関係機関等と連携,協議し,各種研修会及び相談会等の事業を実施する。	男女平等参画課
課題	女性や若者,事業者向けに,啓発だけでなく,行動に結びつく事業を効果的に実施していく必要がある。	
R3年度の対応方針	コロナ禍など,様々な状況に応じた開催方法(オンラインなど)を確立させるとともに,女性活躍推進を図るため,本事業を継続する。	

事業概要 女性の活躍推進		担当課
具体的事業	【I-(2)再掲】男女平等参画に関する学習機会の提供	
R2年度の実績・件数	<p>○男女平等参画塾の開催(1回)</p> <p>女性のためのミドル世代「おひとりさま」講座 令和2年11月28日(金),12月5日(土) 参加者数:35人</p> <p>○男女平等参画専門講座,男性対象講座,子ども講座,ワーク・ライフ・バランス講座については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	
R2事業費(千円)	<p>予算額 120</p> <p>決算額 80</p>	
実施内容	女性の単身者や女性の貧困の深刻化が進む危険が増加していることなどから,女性が今後自分らしい充実した暮らしを実現するために事業を実施した。将来に向けて備えるべきお金の知識や情報を提供するという観点で,ファイナンシャルプランナーによる講義とハローワーク水戸の職員から,就業に関する情報提供を行った。	男女平等参画課
課題	社会や経済情勢を踏まえ,ニーズを把握する必要がある。	
R3年度の対応方針	コロナ禍など,様々な状況に応じた開催方法(オンラインなど)を確立させるとともに,男女平等参画に関する啓発をするために本事業を継続する。	

事業概要 高齢者の活躍推進

担当課

具体的事業	中高年齢者等の雇用の促進	高齢福祉課, 商工課
R2年度の実績・件数	(公社)水戸市シルバー人材センターに対する補助の実施	
R2事業費(千円)	予算額 15,329 決算額 15,329	
実施内容	シルバー人材センターの運営をサポートすることにより, 高齢者の就業機会の増加と能力を生かした雇用の促進する。	
課題	センターの運営状況を把握し, 適切な補助が必要である。	
R3年度の対応方針	働くことを通じ, 高齢者の社会参加や生きがいがいづくりが促進されることから, 事業を継続する。	

事業概要 障害者の活躍推進

担当課

具体的事業	障害者の雇用の促進(「収入の拡大」, 「雇用の促進」)。うち障害福祉課は, 「収入の拡大」)	障害福祉課, 商工課
R2年度の実績・件数	・「魅力ある売れる新商品」開発支援事業 工賃向上研修会の開催 中止 ・障害者就労施設等からの物品等調達の推進 物品, 役務の調達において, 障害者就労施設等からの調達を拡大, 推進するよう全庁に呼びかけ	
R2事業費(千円)	予算額 6,811 決算額 0	
実施内容	・「魅力ある売れる新商品」開発支援事業 工賃向上研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ・障害者就労施設等からの物品等調達を推進した。 物品, 役務の調達において, 障害者就労施設等からの調達を拡大, 推進するよう全庁に呼びかけを行った。	
課題	・コロナ禍における工賃向上研修の実施手法及び研修内容の実践方法を検討する必要がある。 ・障害者就労施設等からの物品等調達の効果的な推進方法を検討する必要がある。	
R3年度の対応方針	・工賃向上研修会(「魅力ある売れる新商品」開発支援事業)の開催に向けて, 新型コロナウイルス感染症予防を図りながら開催する方法等について, 検討する。 ・物品, 役務の調達において, 障害者就労施設等からの調達を拡大, 推進するよう, 引き続き全庁に呼びかけ, 障害者就労施設等からの調達の拡大を図る。	

事業概要 外国人が活動しやすい環境づくり		担当課
具体的事業	外国人が訪れやすく暮らしやすい環境づくり(多文化共生の環境づくり)の推進	文化交流課
R2年度の実績・件数	1 水戸市国際交流センターの運営 (1)稼働日数 292日 (2)利用件数(うち国際交流) 1,089件(948件) (3)利用人数 13,276人 2 国際交流協会での外国人相談件数 窓口 107件 電話 225件 3 外国人市民のための生活ガイドブックの作成 (1)作成数 800冊 (2)言語数 4か国語(日, 英, 中, 韓) (3)設置場所 市役所の各課窓口等 4 多言語翻訳機の設置 (1)設置個所 市役所総合案内, 文化交流課 (2)利用回数 5回	
R2事業費(千円)	予算額 93,040千円 決算額 75,556千円	
実施内容	・外国人市民に向けた生活情報の提供や防災訓練の実施など, 外国人が住みやすい環境づくりを推進する。	
課題	・外国人市民に対する日本語教育の充実を図る必要がある。 ・市職員等の外国人市民への対応能力を向上させる必要がある。	
R3年度の対応方針	・外国人相談窓口を継続するとともに, 生活ガイドブックの周知に努めるほか, 日本語教育を進める。 ・市職員, 教職員等向けの研修を実施する。	

【事業名 産・学・官連携の推進】		担当課
事業概要 産・学・官連携事業の推進		担当課
具体的事業	産・学・官連携事業の推進	政策企画課
R2年度の実績・件数	水戸ヤクルト販売(株)と包括連携協力に関する協定を締結 産・学・官連携事業の数:402件	
R2事業費(千円)	予算額 0 決算額 0	
実施内容	水戸ヤクルト販売(株)との包括連携協力に関する協定に基づき, ウイルスに負けない体づくりのための食事について楽しく学べる動画を制作し, 市YouTubeで発信した。 第一生命保険及び明治安田生命保険との包括連携協定締結に向けて庁内合意を図ったほか, 複数の団体から事業提案を受け, 関係各課への情報共有, 連携事業の調整を行った。	
課題	包括連携協力に関する協定について, 既締結団体と連携事業を継続的に実施し行政課題の解決につなげるため, 各課の取組と, 団体が有する人的・物的資源や知見をマッチングさせる仕組みが必要である。	
R3年度の対応方針	さらなる産・学・官連携の推進に向け, 各課が連携事業を立案する際の参考資料としてもらうため, 本市が行う連携事業を分かりやすく一覧にまとめ, 庁内に周知を図る。 第一生命保険(株)及び明治安田生命保険相互会社と, 新たに包括連携協力に関する協定を締結する予定である。	

事業概要 ICTを活用した市民サービスの向上		担当課
具体的事業	ICTを活用した新たなサービスの調査・研究	情報政策課
R2年度の実績・件数	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス決済の導入 ・RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を18業務に導入 効果削減時間2,041時間 ・AI議事録システムの導入 35の会議に使用 ・産・学・官連携事業の推進(2件) 	
R2事業費(千円)	予算額 721 決算額 721	
実施内容	市民課及び休日夜間緊急診療所において証明書発行手数料等のキャッシュレス決済を導入するとともに、スマートフォン決済アプリを活用した市税等の納付を開始した。 また、日本電気㈱等と「AI技術を応用した地方自治体が抱える課題の解決に向けた共同研究」及び茨城県立産業技術短期大学校と「IoTを活用した通行量調査の研究」を実施した。	
課題	RPA, AI等の活用に当たっては、行政手続や内部事務のデジタル化の推進, 事務手順の見直しや標準化等への対応が必要である。 また、ICTへの理解を深めるための職員研修を充実させるとともに、ICTまちづくりの推進に向けた市民意識向上への取組が求められる。	
R3年度の対応方針	業務担当課との連携により、ICTまちづくりの実現に向け行政手続や内部事務のデジタル化を推進し、市民にとってより便利なサービスの実現を目指す。 また、産・学・官連携事業を更に推進し、新たな技術の研究を進めるとともに、市民や市内民間企業への啓発を進める。	